

パネルシャッター 1 型

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書

本体ユニット

① 前面パネル用フレーム

名 称	員 数
前面パネル用フレーム	1
間口ガイド材	1
光電センサー用CD管1 L=4800 (針金入)	1
光電センサー用CD管2 L=1800 (針金入)	1

② 側壁フレーム (右)

名 称	員 数
側壁フレーム (右)	1

③ 側壁フレーム (左)

名 称	員 数
側壁フレーム (左)	1

④ 笠木・前面パネル下カバーセット

名 称	員 数
前面笠木	1
前面パネルコーナー材	1
前面パネル上カバー	1
前面パネル下カバー	1

⑤ 巾木・笠木セット

名 称	員 数
巾木1 (右)	1
巾木1 (左)	1
巾木2	2
巾木3	2
巾木4 (右)	1
巾木4 (左)	1
巾木コーナーキャップ	6
側壁笠木	2
笠木コーナーキャップ	2
笠木端部キャップ	2

⑥ レールセット

名 称	員 数
レール (右)	1
レール (左)	1
柱カバー (右)	1
柱カバー (左)	1
レールステイ (右)	1
レールステイ (左)	1

⑦ 部品セット (取付説明書・取扱説明書在中)

名 称	員 数
ブラケット (右)	1
ブラケット (左)	1
支柱側ベースプレート	2
控え柱ベースプレート (右)	1
控え柱ベースプレート (左)	1
前面パネル取付金具	4
前面パネル調整取付金具	2
前面パネル・レベル調整金具	2
間口ガイド材取付金具	2
ケース防水テープ 1.5m巻	2
シール剤 333ml	1

⑦ つづき

名 称	員 数
ブラケット取付ボルト M8×18 (Wセムス)	4
前面パネル取付金具組付ボルト M8×18 (Wセムス)	8
前面パネル調整取付金具組付ボルト M10×25 (Wセムス)	6
前面パネル・レベル調整金具用ボルト M8×12	4
前面パネル・レベル調整ボルト M10×35 (全ネジ)	2
間口ガイド材取付金具取付ネジ φ4×10トラス	8
前面パネル上カバー取付ネジ φ4×35ナベ	2
前面パネル下カバー組付ネジ φ4×10トラス	5
前面パネルコーナー材取付ネジ φ4×10トラス	11
柱カバー取付ネジ φ4×20ナベ	12
レールステイ取付ネジ φ4×35ナベ	12
レール組付ネジ φ4×10ナベ	12
プッシュボタン φ10用	38
笠木取付ネジ φ4×19ドリルネジ	12
笠木取付座金 M4用シーリングワッシャー	12
笠木キャップ取付ネジ φ4×14ナベ	14
笠木キャップ取付座金 M4用シーリングワッシャー	14
巾木取付ネジ φ4×19ドリルネジ	34
アンテナ取付ネジ φ4×19ドリルネジ	2
受信機取付ネジ φ4×19ドリルネジ	2
支柱レベル調整金具 (外用)	2
支柱レベル調整金具 (内用)	2
支柱レベル調整金具組付ボルト M8×12	8
支柱レベル調整ボルト M10×100 (全ネジ)	4
ホールインアンカー M10 L=60	8
支柱ベースプレート・ジョイントボルト M8×150	4
支柱ベースプレート・ジョイントボルト用ナット M8	4
支柱ベースプレート・ジョイントボルト用平座金 M8	4
支柱ベースプレート・ジョイントボルト用バネ座金 M8	4
控え柱ベースプレート固定・調整ボルト M10×50 (全ネジ)	6
控え柱ベースプレート固定平座金 M10	2
控え柱ベースプレート固定バネ座金 M10	2
インシュロック・バンド	1
粘着テープ固定具	1
投光側光電センサー (コード5m付)	1
受光側光電センサー (コード2m付)	1
光電センサーカバー (右)	1
光電センサーカバー (左)	1
光電センサー取付金具	2
光電センサーカバー取付ネジ φ4×8トラス	8
光電センサー取付金具取付ネジ φ4×8トラス	4
光電センサー取付ネジ M4×25ナベ	4
光電センサー取付ナット M4	4
CD管止めサドル	2
CD管止めサドル取付ネジ φ4×10ナベドリルネジ	4
取付説明書・取扱説明書	各1

小袋入り

■梱包明細書 つづき

シャッターユニット

① スラットセット

名 称	員 数		
	ステン	スチール	アルミ
スラット本体 (ステン)	1	—	—
スラット本体 (スチール)	—	1	—
スラット本体 (アルミ)	—	—	1

② シャフト

名 称	員 数	
	ステン・スチール	アルミ
シャフト本体 (ステン・スチール)	1	—
シャフト本体 (アルミ)	—	1
アンテナ	1	1
リモコン送信機	1	1
クラッチ解放リング	1	1
ワイヤークリップ	1	1
アングル材固定ネジ M4×10特サラ	14	14
カバー取付ネジ φ4×12トラス	20	20
スラット固定ボルト M8×25	3	3
シャフト固定ボルト M8×65	2	2
シャフト・スラット取付ナット M8	5	5
シャフト・スラット取付平座金	10	10
シャフト・スラット取付バネ座金	5	5

③ フレーム

名 称	員 数
カバーアングルA	3
カバーアングルB	1

④ カバー

名 称	員 数
上板 (右)	1
前板 (右)	1
下板 (右)	1
上板 (左)	1
前板 (左)	1
下板 (左)	1

パネルユニット

① パネルセット

セット名称	部材名称	働き寸法 W×H	員 数	必要梱包数	
				H21	H23
A-1	A-1	800×300	2	9	9
A-2	A-2	800×150	2	2	3
B-1	B-1	193×300	8	2	2
B-2	B-2	193×150	2	1	2
C-1	C-1 (右)	660×300	1	7	7
	C-1 (左)	660×300	1		
C-2	C-1 (右)	660×300	1	1	1
	C-2 (左)	660×300	1		
C-3	C-3 (右)	660×150	1	1	2
	C-3 (左)	660×150	1		
D-1 (右)	SD-1 (右)	279.5×300	7	1	1
D-1 (左)	SD-1 (左)	279.5×300	7	1	1
D-2	SD-2 (右)	279.5×150	1	—	1
	SD-2 (左)	279.5×150	1		
Eセット①	SE-1	767.5×300	1	1	1
	SE-2 (右)	572.75×300	1		
	SE-2 (左)	572.75×300	1		
Eセット②	SE-3 (右)	783.75×150	1	1	1
	SE-3 (左)	783.75×150	1		
	SE-4 (右)	132.75×150	1		
	SE-4 (左)	132.75×150	1		

② パネル取付部品・ネジセット

名 称	員 数
パネル取付金具100	14
パネル取付金具40	180
パネル位置出し材	2
パネル取付金具用固定ネジ φ4×13ドリルネジ	204 (予備10)

③ Tブロック ラテル専用接着剤 (灰色)

名 称	員 数
専用接着剤 (灰色)	1

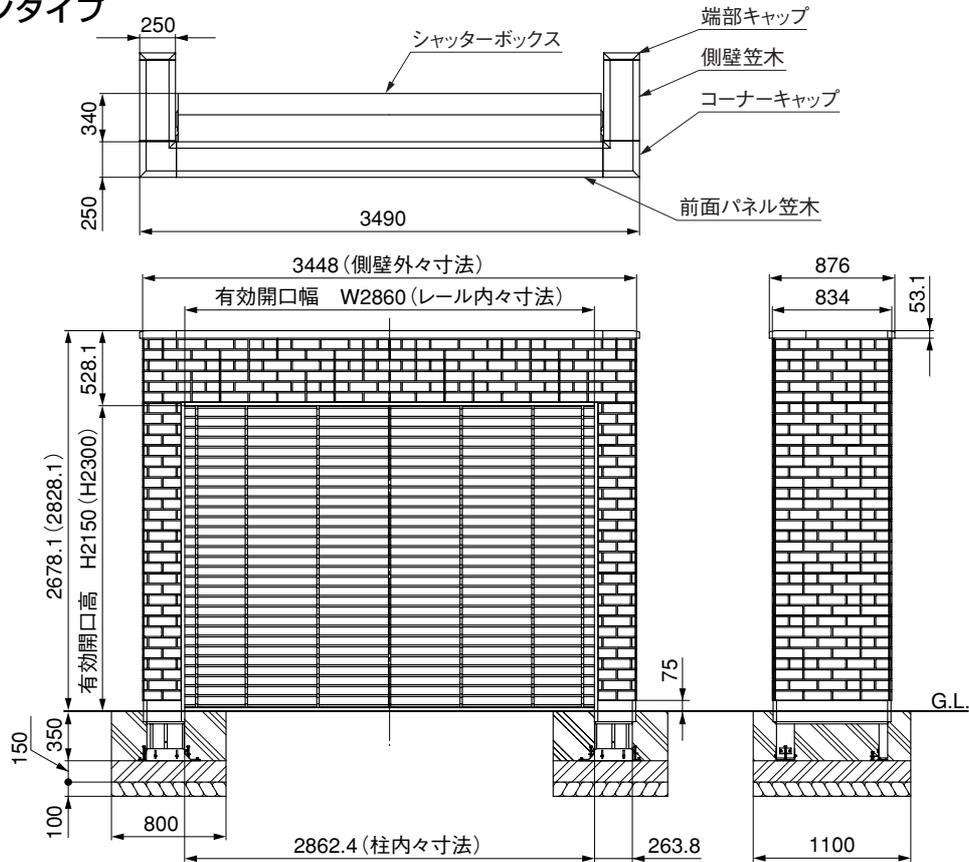
④ Tブロック ラテル継ぎ目補修材 (灰色)

名 称	員 数
継ぎ目補修材 (灰色)	500g
刷毛	1
カップ	1
取付説明書 (継ぎ目補修材専用)	1

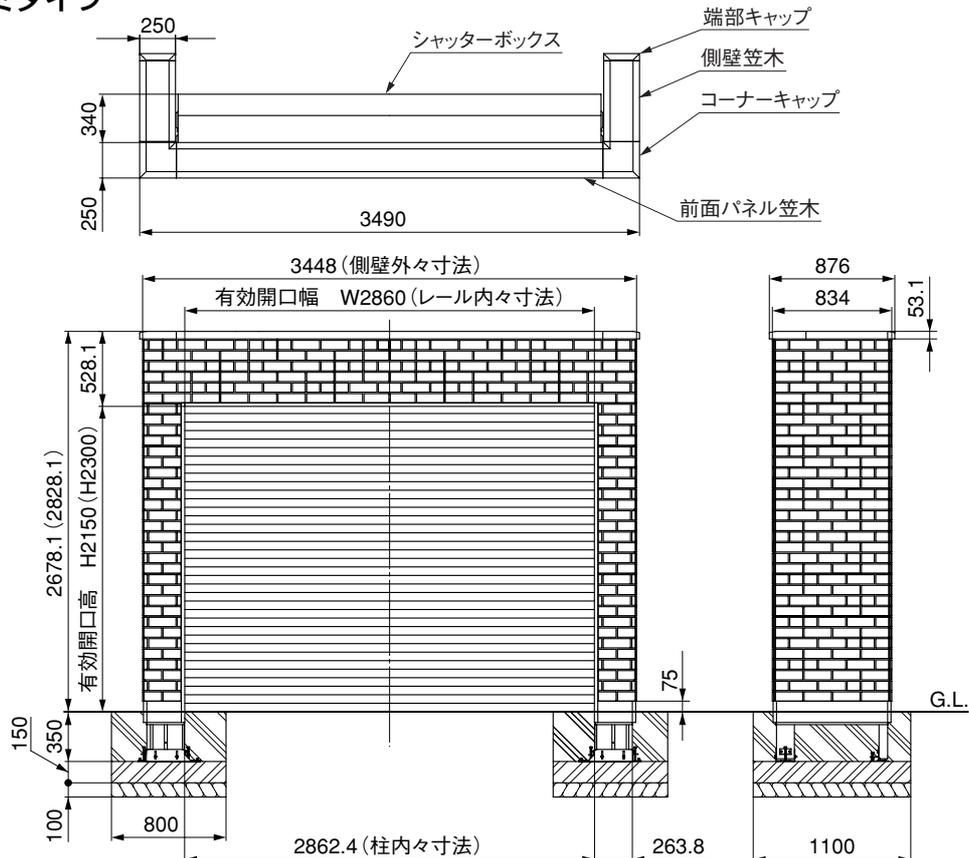
1. 基本寸法および各部名称

※図はH2150です。() 寸法はH2300です。

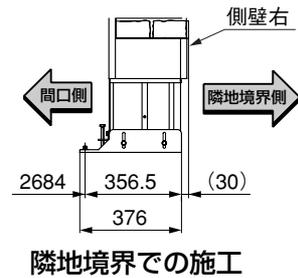
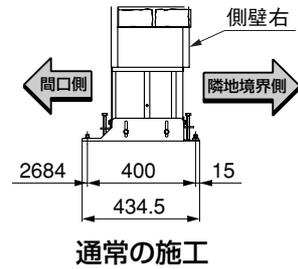
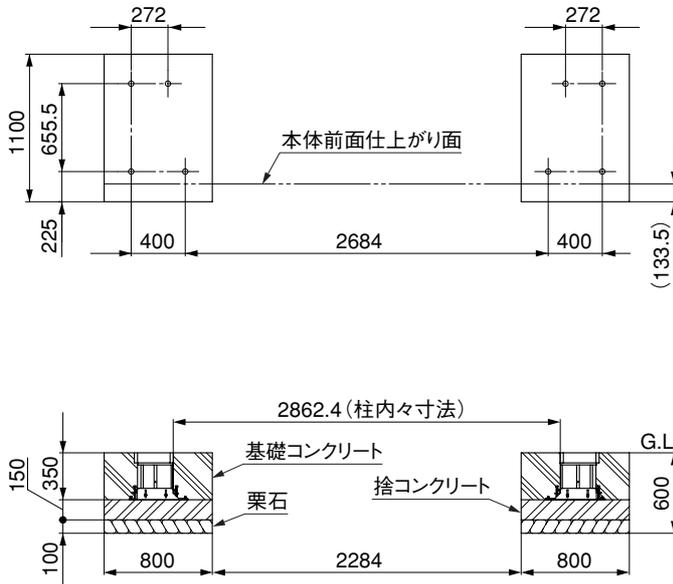
1-1 ステンタイプ



1-2 アルミタイプ



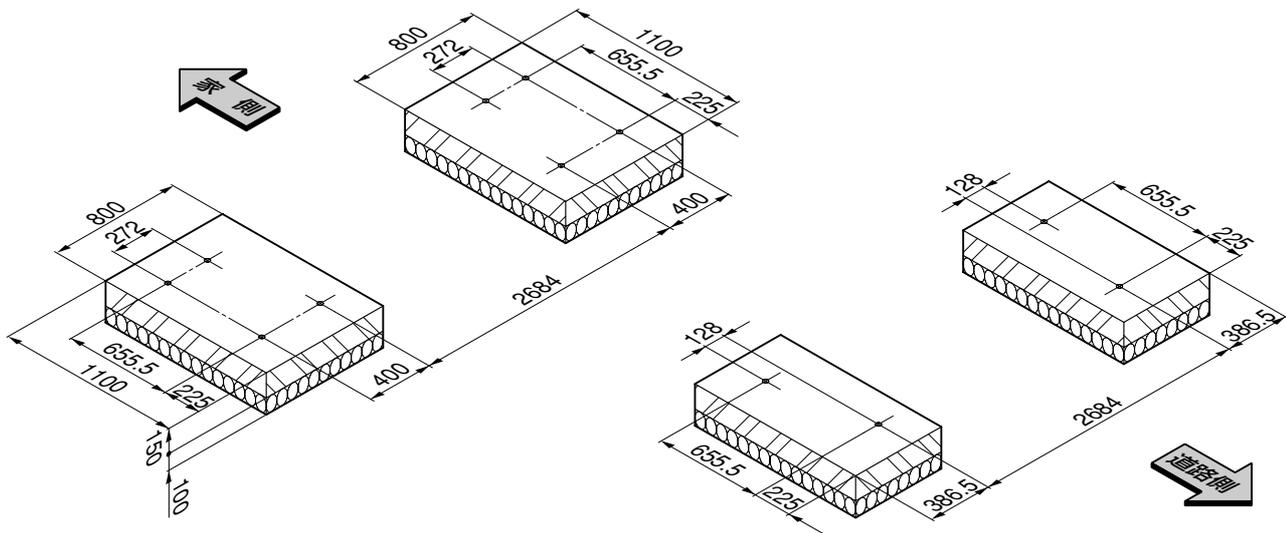
2. 基礎部分の寸法



<注意>

- 隣地境界での施工の場合、壁等の障害物があるときは、障害物の面にパネルを取付けた状態で施工してください。

3. 基礎の施工

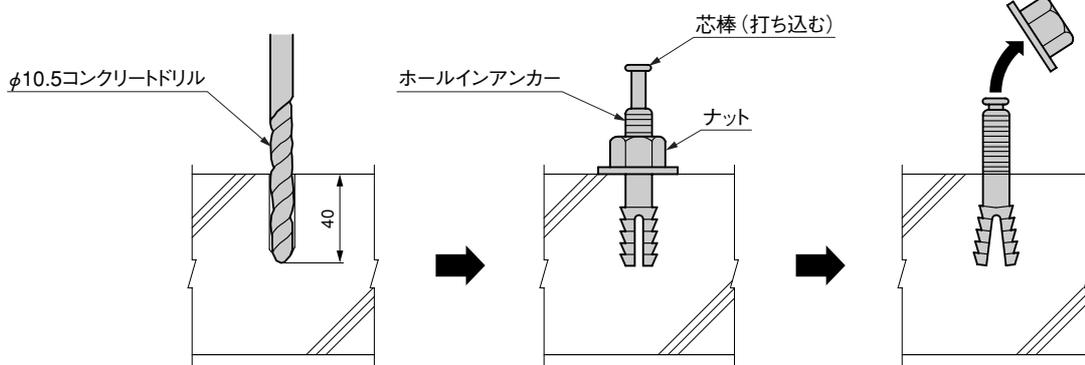


- ① 「2.基礎部分の寸法」を参考にして、捨てコンクリートを施工してください。
- ② 墨出しをして、ホールインアンカーの穴あけ(φ10.5)を行なってください。
- ③ ホールインアンカーを打ち込んでください。

<注意>

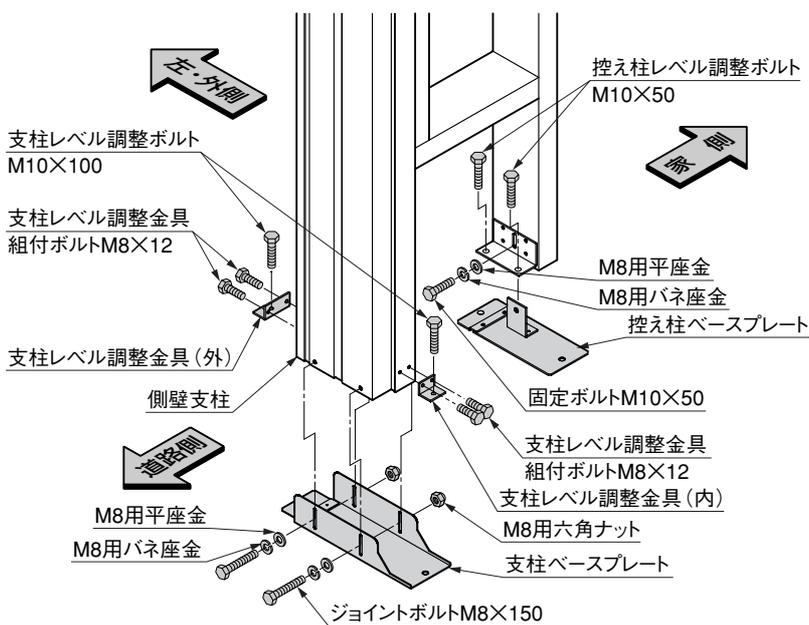
- 穴あけはコンクリートが十分硬化してから行なってください。
- 隣地境界線ぎりぎりに施工する場合、隣地境界側のホールインアンカーは取付けないで、隣地境界線側へ側壁パネル本体を寄せ付けて施工してください。
- 隣地境界でない方は、通常の基礎施工を行なってください。

4. ホールインアンカーの施工

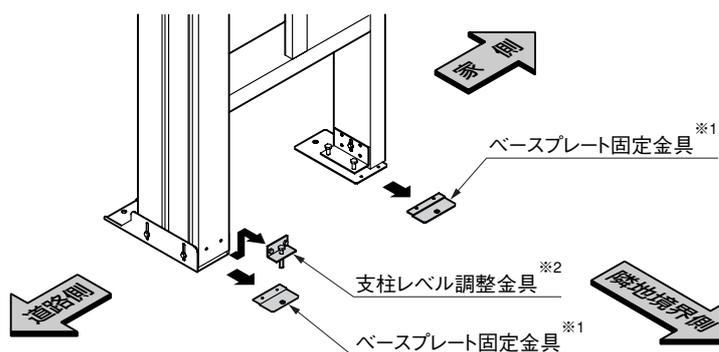
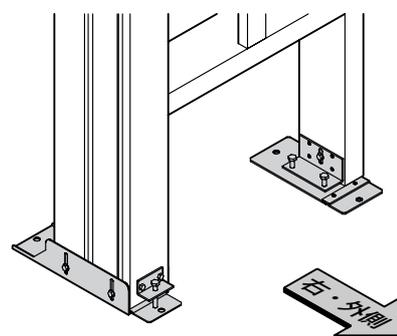


- ① 直径10.5mmのコンクリートドリルで、深さ40mmの下穴をあけてください。
- ② ホールインアンカーに付属のナットを、手で一杯までネジ込んでください。
- ③ 穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で十分打ち込んでください。
- ④ ナットを一担、取りはずしてください。

5. ベースプレートの取付け



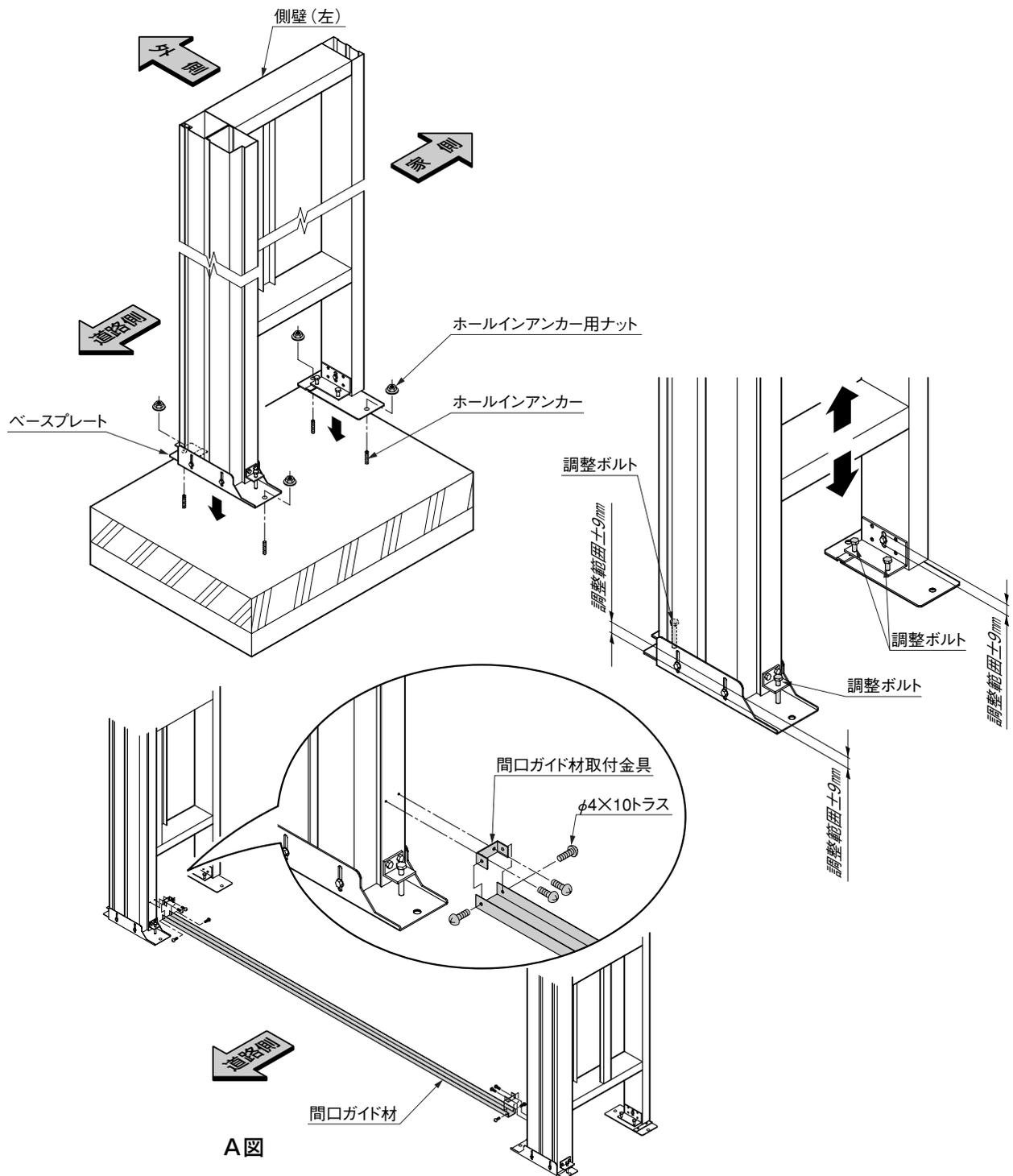
- ① 側壁支柱に支柱レベル調整金具(外・内用で金具形状が異なります。)を組付ボルト(M8×12)で取付けてください。
- ② 支柱レベル調整ボルト(M10×100)、控え柱レベル調整ボルト(M10×50)をレベル調整金具に取付けてください。
- ③ 支柱ベースプレートをジョイントボルト(M8×150)、控え柱ベースプレートを固定ボルト(M10×50)で固定してください。



<注意>

- 隣地境界ぎりぎりに施工する場合は、ベースプレート固定金具(※1)を取りはずしてください。また、隣地境界側の支柱レベル調整金具(※2)は取付ける必要がありません。

6. 壁ユニットの固定



- ❶ 側壁を取付位置に設置してください。
- ❷ ベースプレートをホールインアンカーに仮固定してください。
- ❸ A図のように側壁の左右に間口ガイド材取付金具をφ4×10トラスネジで取付けてから、間口ガイド材をφ4×10トラスネジで取付けてください。
- ❹ ホールインアンカーを固定してください。
- ❺ 調整ボルトをまわして、レベルの調整を行なってください。
- ❻ 調整後、ボルト、ナットを本締めしてください。

7. 前面パネル取付金具の取付け

前面パネル取付金具

M8×18セムス

前面パネル調整取付金具

M8×18セムス

レベル調整金具

M8×12

M8×35

M8×18セムス

前面パネル取付金具

道格側

外面

- ① 側壁にレベル調整金具をM8×12ボルトで固定し、調整ボルト(M8×35)を取付けてください。
- ② 側壁に前面パネル取付金具、前面パネル調整取付金具をM8×18セムスボルトで、仮固定してください。
- ③ 反対側の側壁にも同じように金具を取付けてください。

8. パネル下カバーの取付け

※前面パネルを側壁に取付ける前に前面パネル下カバーの取付けを行なってください。

前面パネル

前面パネルコーナー材

φ4×10トラス

前面パネル下カバー

φ4×10トラス

前面パネル下カバー

φ4×10トラス

前面パネルコーナー材

上側

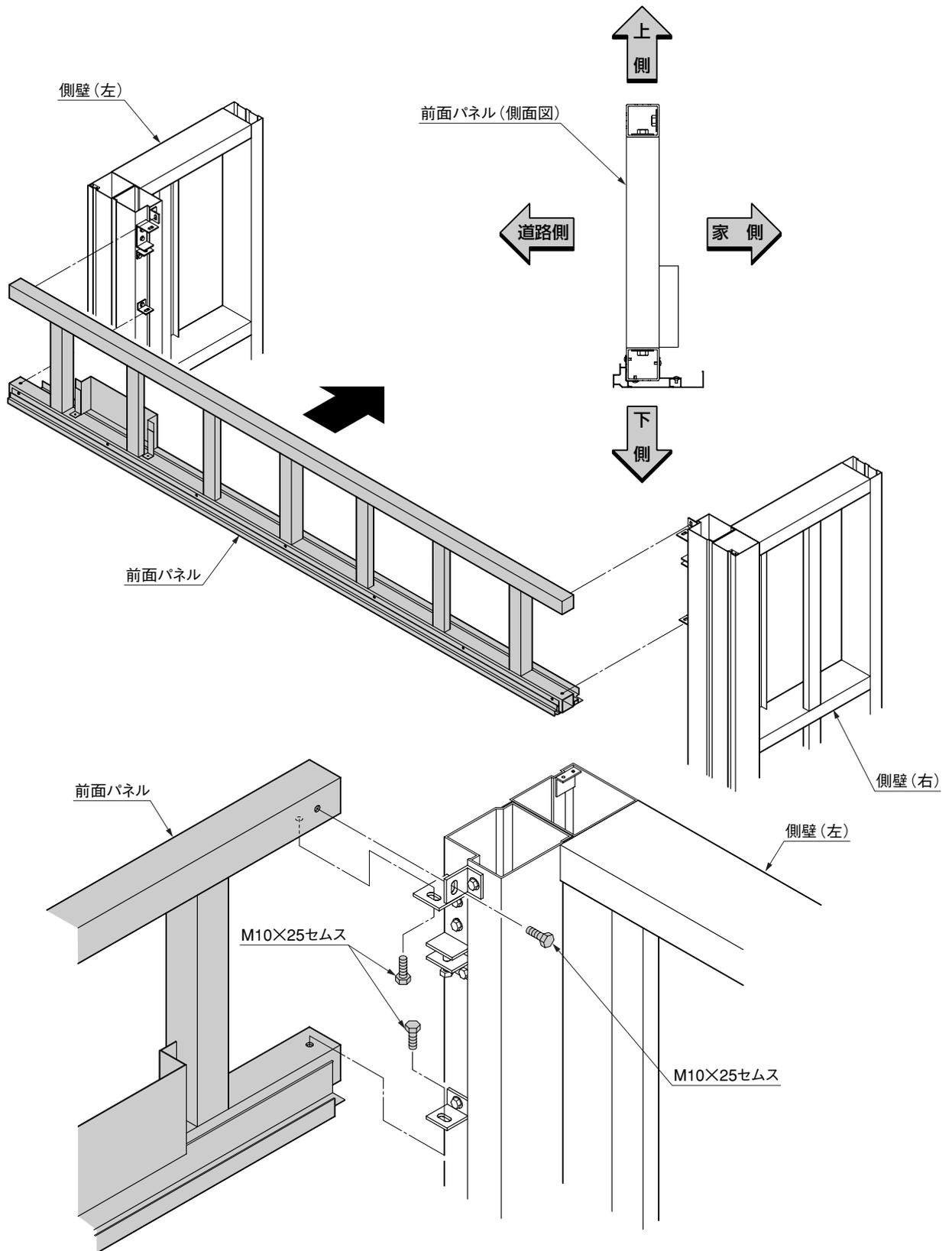
- ① 前面パネル下枠に前面パネルコーナー材をφ4×10トラスネジで取付けてください。
- ② 前面パネル下カバーの先端を前面パネルコーナー材に乗せて、φ4×10トラスネジで前面パネル下枠に取付けてください。

前面パネルコーナー材

乗せる

前面パネル下カバー

9. 前面パネルの取付け

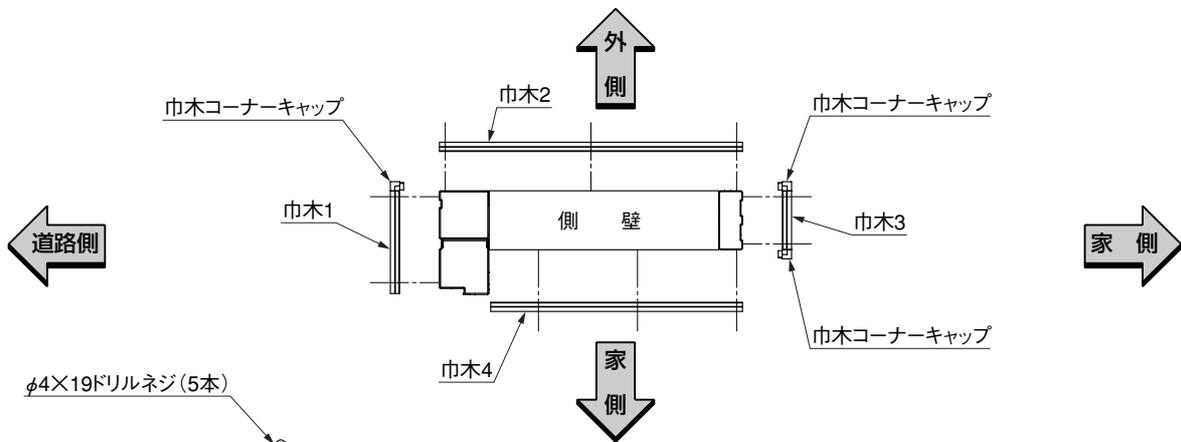


❶ 側壁に前面パネルをボルト (M10×25セムス) で取付けてください。

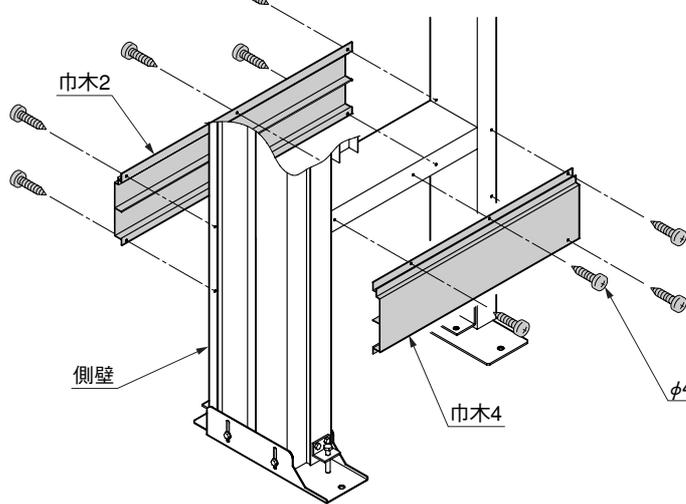
<注意>

- レールステイ・柱カバーの取付けを行なった後にレベル調整して、ボルトの本締めを行なってください。

10. 巾木の取付け

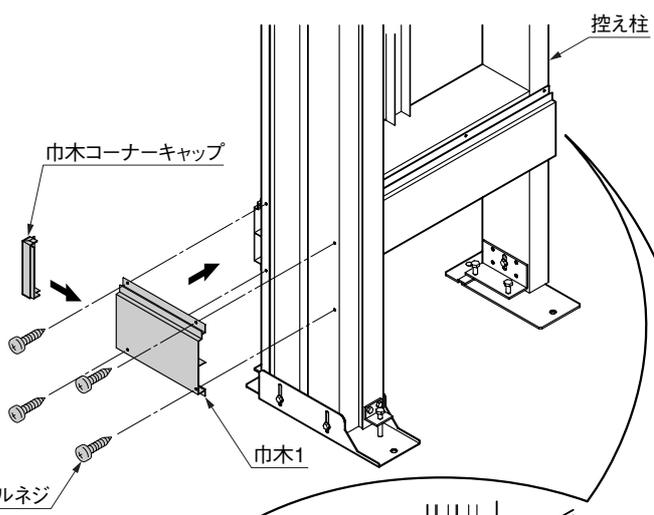


φ4×19ドリルネジ (5本)



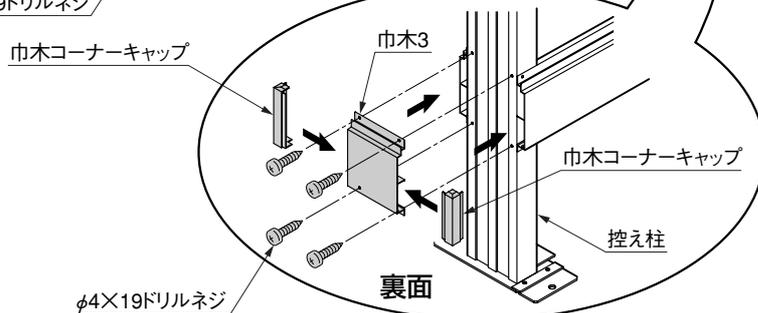
① 左右の側壁に巾木2、巾木4をφ4×19ドリルネジで取付けてください。
(巾木2：ネジ5本、巾木4：ネジ4本)

φ4×19ドリルネジ (4本)



② 巾木コーナーキャップを巾木1に差込んだ状態で巾木2に差込み、巾木1をφ4×19ドリルネジで取付けてください。

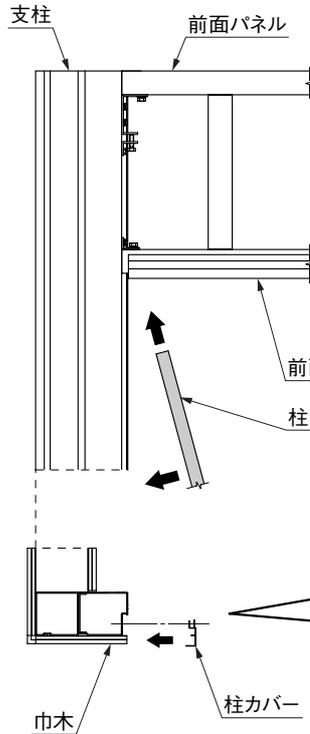
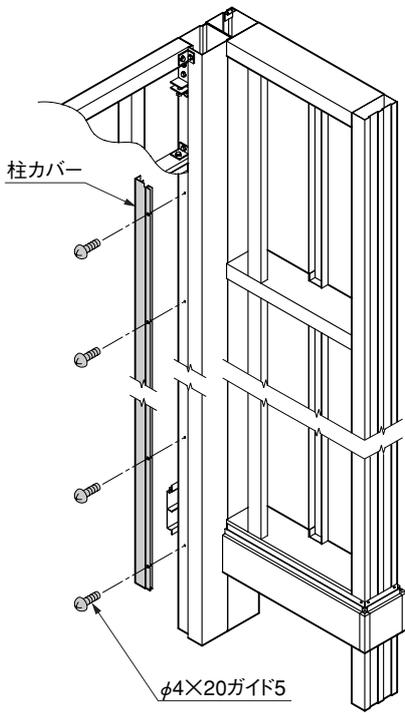
φ4×19ドリルネジ



③ 巾木コーナーキャップを巾木3に差込んだ状態で巾木2、巾木4に差込み、巾木3をφ4×19ドリルネジで取付けてください。

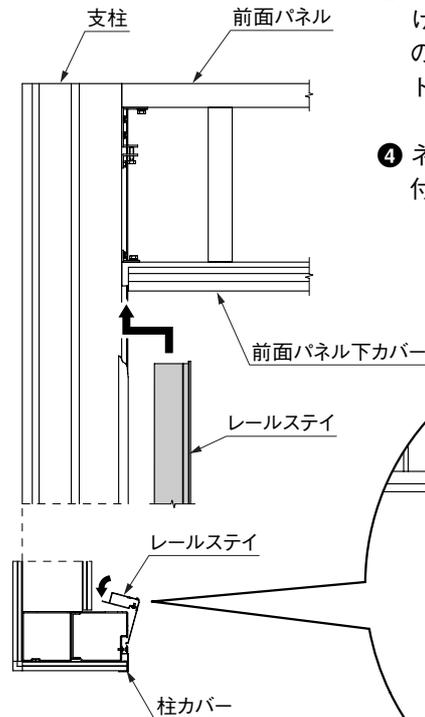
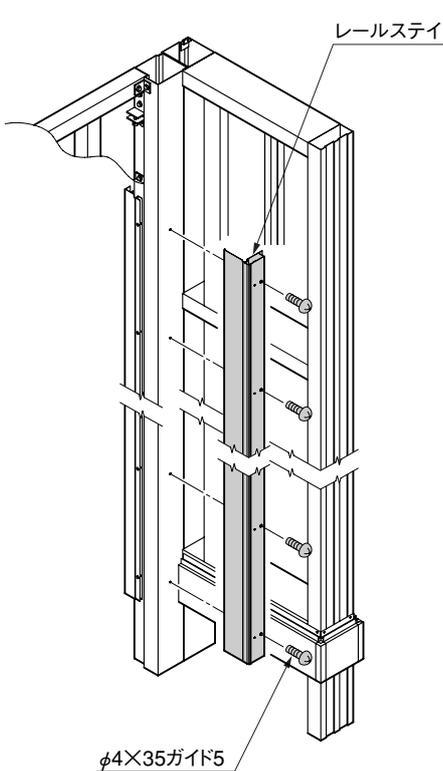
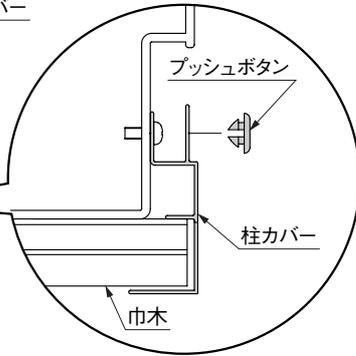
φ4×19ドリルネジ

11. 柱カバー・レールステイの取付け



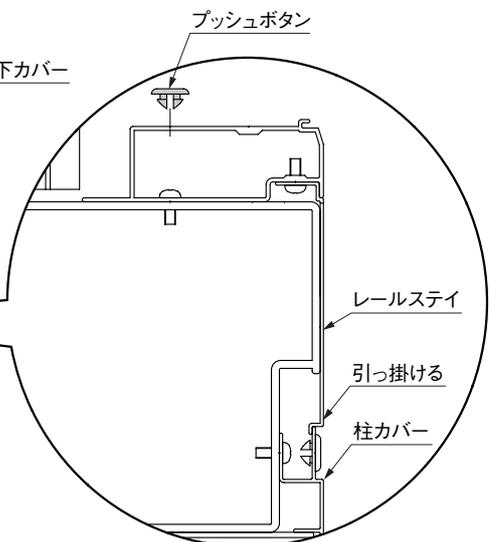
① 支柱と前面パネル下カバーのすき間に柱カバーを差込み、巾木を柱カバーの内側に入れるようにしてφ4×20ガイド5ネジで固定してください。

② ネジ取付け用の穴にプッシュボタンを取付けてください。



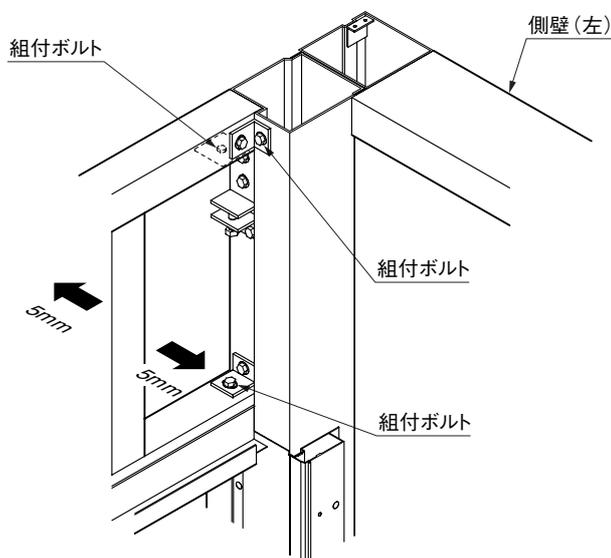
③ レールステイの先端を柱カバーに引っ掛けた状態で、支柱と前面パネル下カバーのすき間に差込んでから、φ4×35ガイド5ネジで固定してください。

④ ネジ取付け用の穴にプッシュボタンを取付けてください。

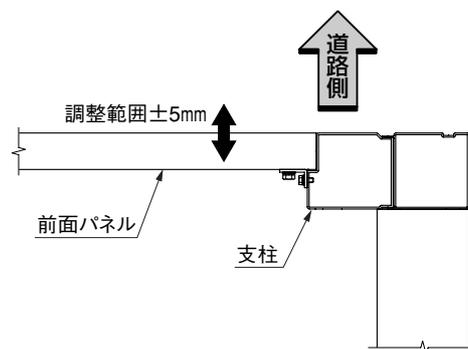


12. 壁のレベル調整

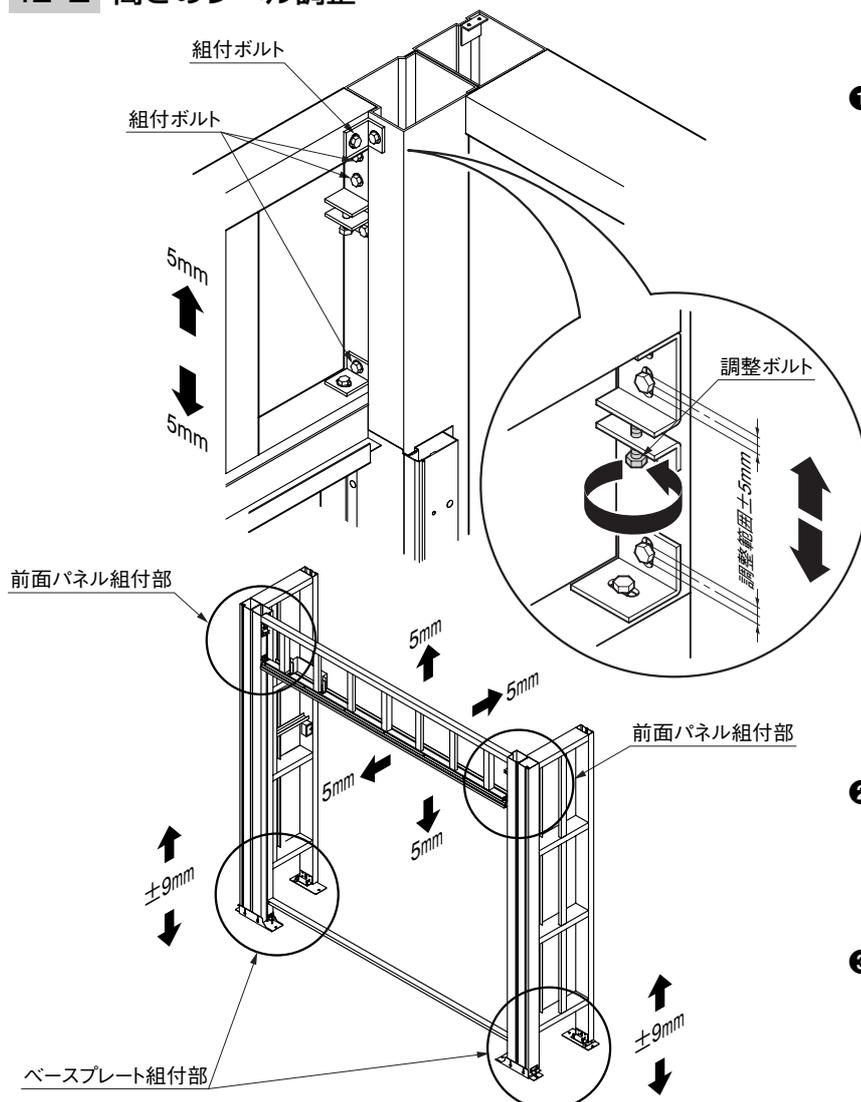
12-1 出幅のレベル調整



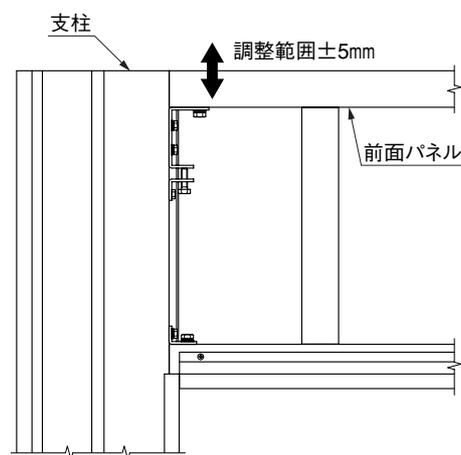
- ① 前面パネルと側壁を組付けている組付ボルトをゆるめて、側壁と前面パネルの前面が合うようにレベル調整を行なってください。（調整範囲は±5mmです。）



12-2 高さのレベル調整



- ① 前面パネルと側壁を組付けている組付ボルトをゆるめて、側壁と前面パネルの上面が合うように調整ボルトで高さ調整してください。（調整範囲は±5mmです。）



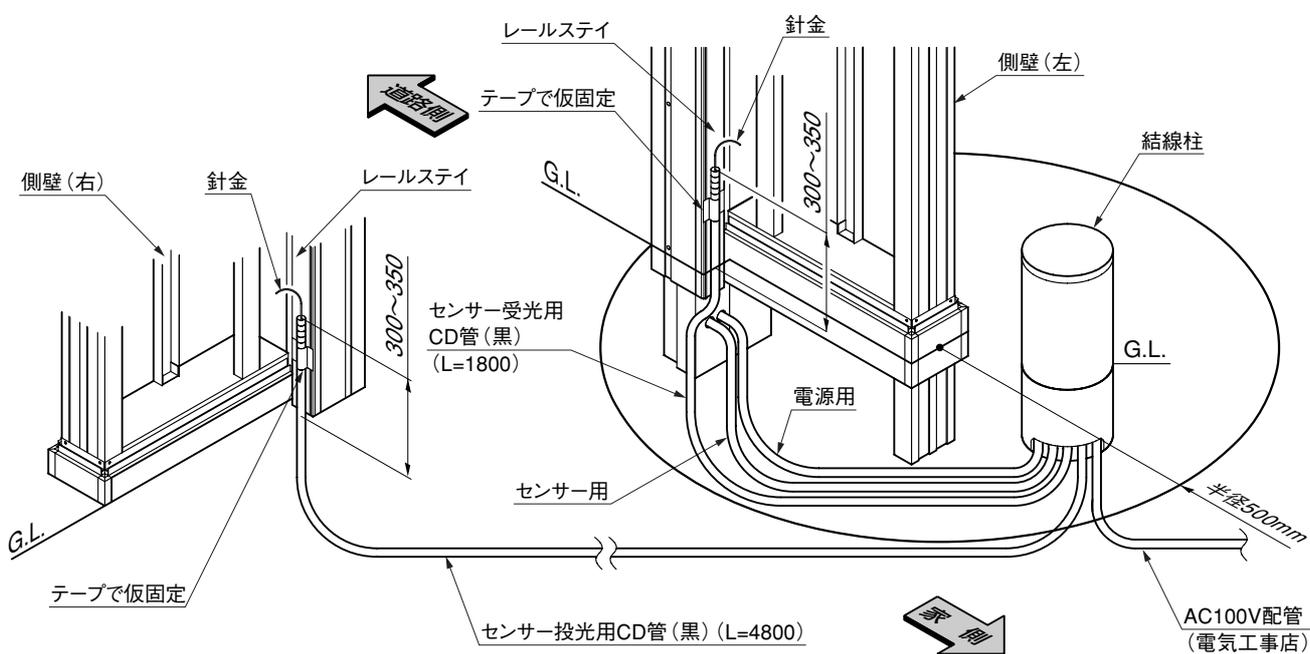
- ② 各部分の調整中に多少ずれる可能性があるため、再度全体のレベルチェック、調整を行なってください。
- ③ 全調整後、ベースプレート組付部、前面パネル組付部のボルトを固定してください。

13. CD管の配管

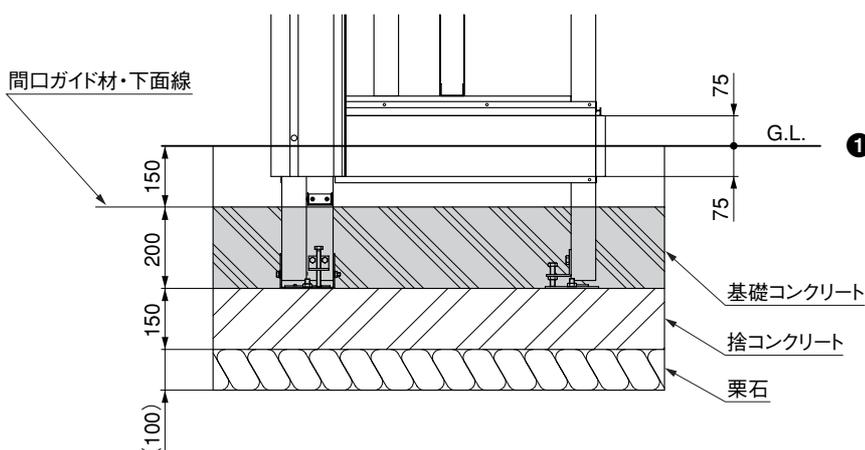
- ① 結線柱は、側壁(左)の家側面から半径500mm以内に施工してください。
- ② 側壁(支柱部)からのCD管(電源・センサー用)、センサーからのCD管(センサー受光・投光用)の計4本を結線柱まで配線してください。なお、結線柱内での電気工事は有資格の電気工事店様へご依頼ください。
- ③ センサー用CD管(黒)は、レールステイ最下部でG.L.より300~350mm出してテープにより固定してください。
- ④ 配管後、投光用および受光用光電センサーのケーブルは、レール下部のCD管から針金を使用して通してください。このとき、5mケーブルが付属している投光用光電センサーは側壁(右)より通してください。

<注意>

- センサー用CD管(L=1800,4800)にセンサーケーブルを後で通しますので中に入っている針金は、はずさないください。
- 25ページの「26.光電センサーの取付け」まで、土間は仕上げないでください。



14. 基礎コンクリート打ち



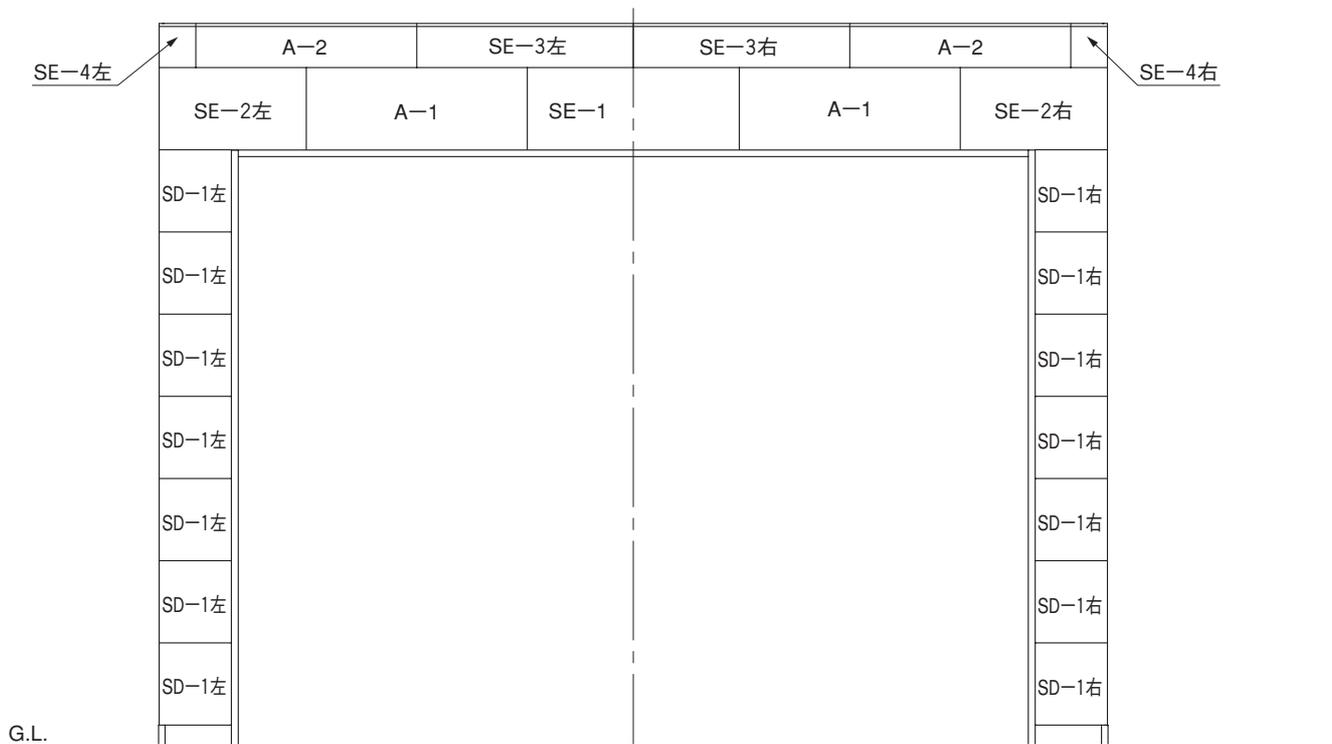
- ① 基礎コンクリートを打設してください。後でガイドレールを取付けますので、間口ガイド材の下面までとしてください。特に支柱、ベースプレートの周りには、十分行き渡るように打設してください。

15. パネル割付け

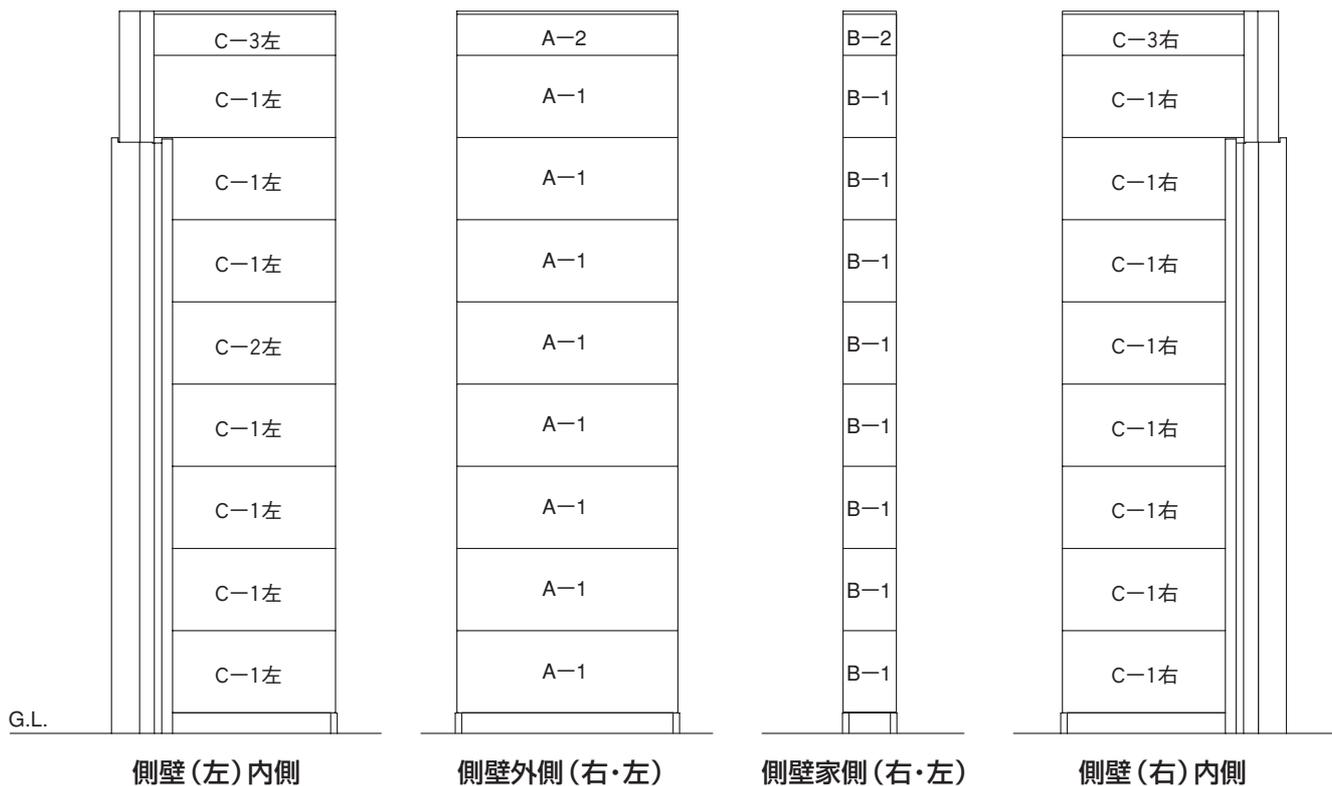
15-1 パネルシャッターH21

<注 意>

- パネルには各形状毎に、固有の呼称があり、パネル裏面に印がありますのでパネル割付図に従って、パネルを張付けてください。



パネルシャッターH21 前面部全景

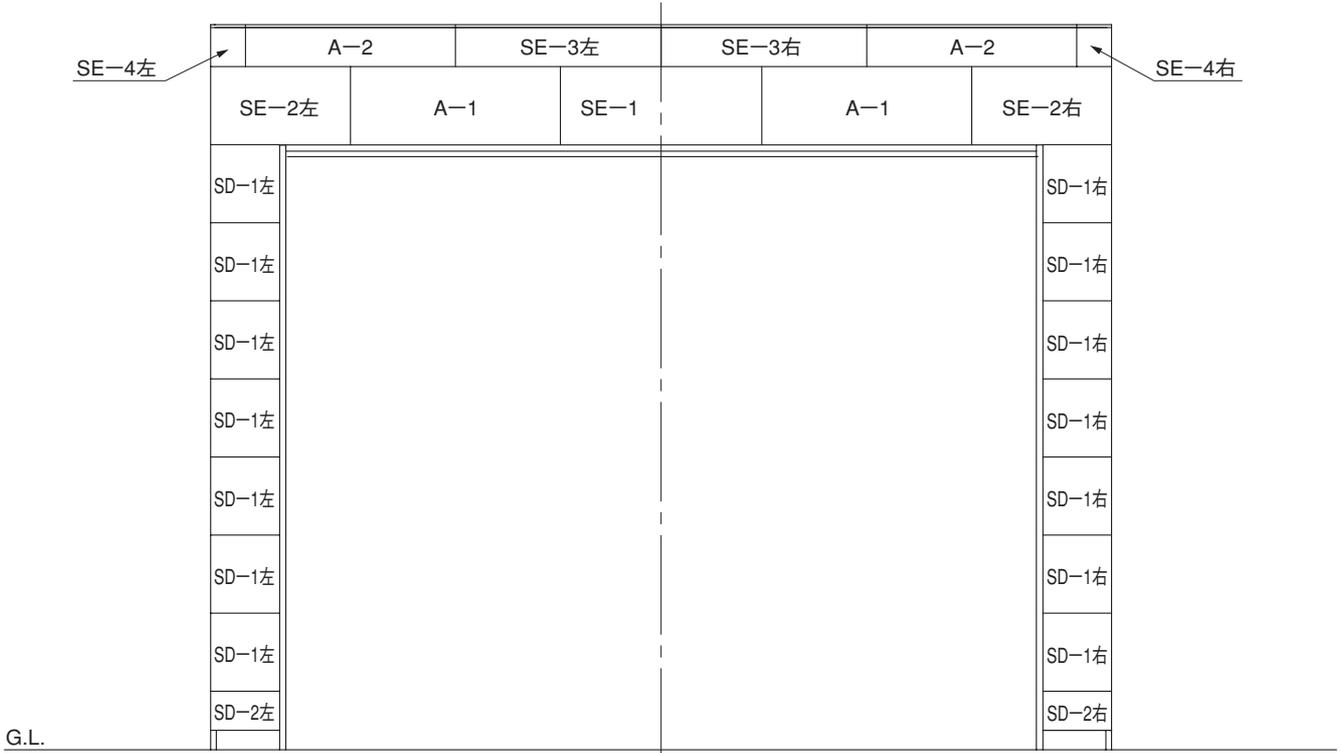


15. つづき

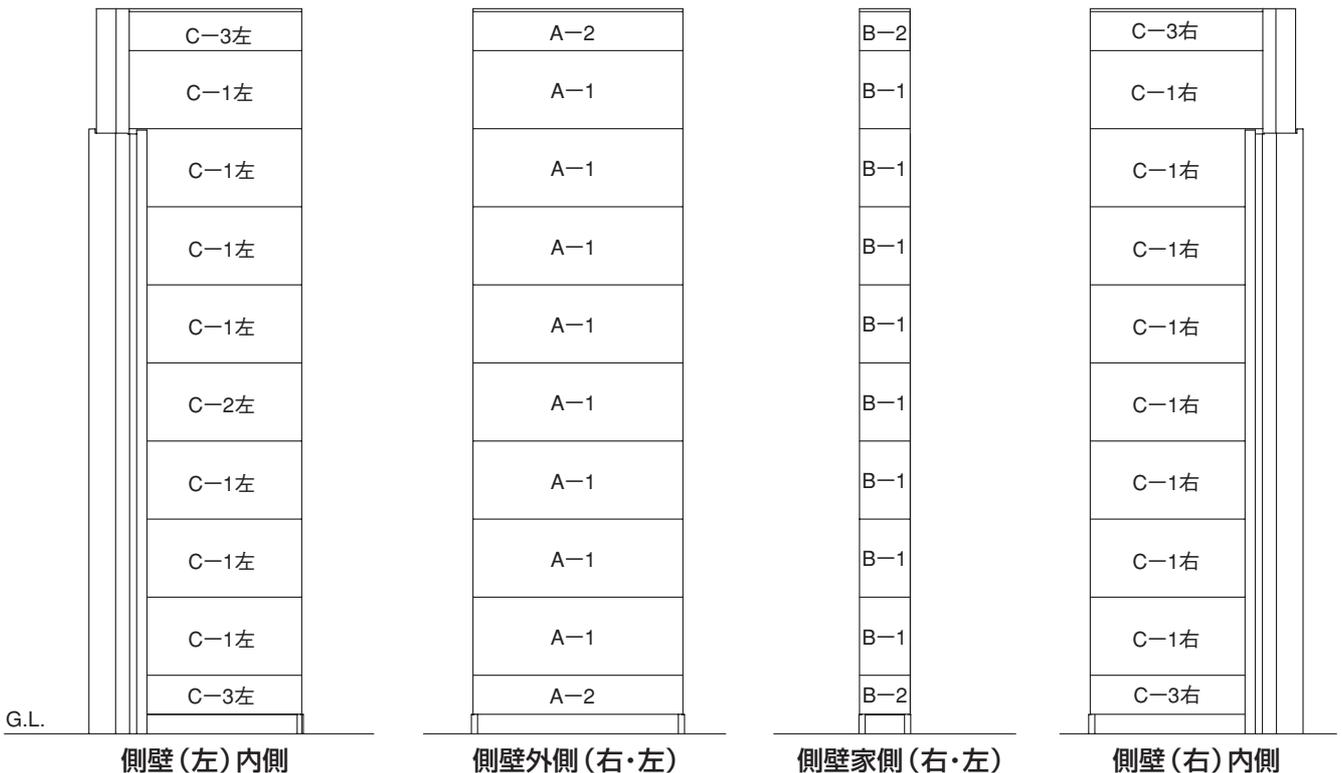
15-2 パネルシャッターH23

<注 意>

- パネルには各形状毎に、固有の呼称があり、パネル裏面に印がありますのでパネル割付図に従って、パネルを張付けてください。



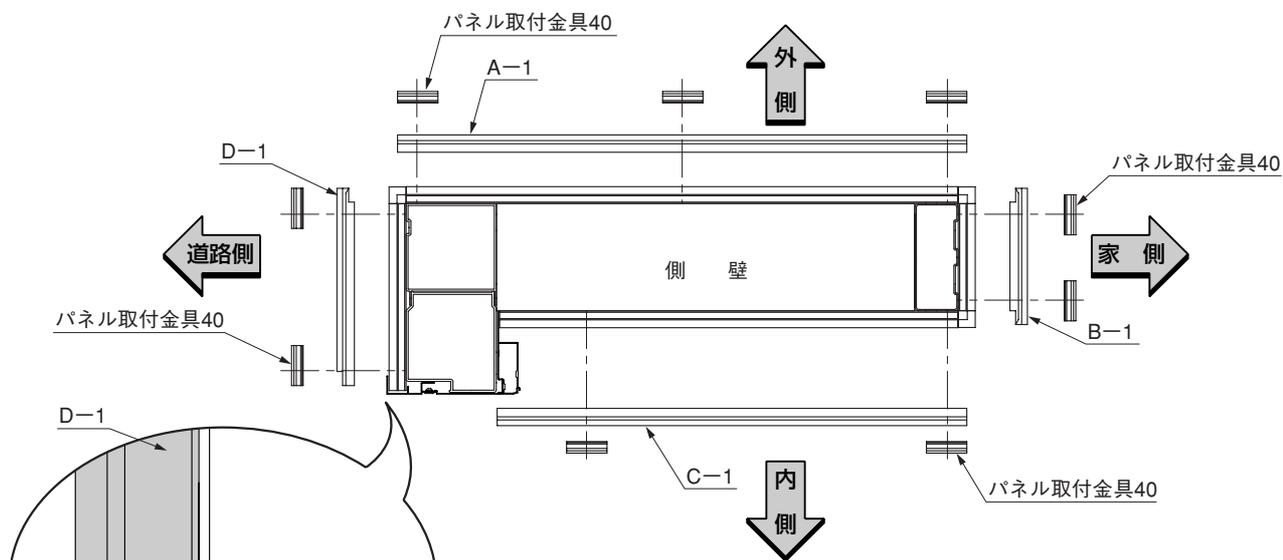
パネルシャッターH23 前面部全景



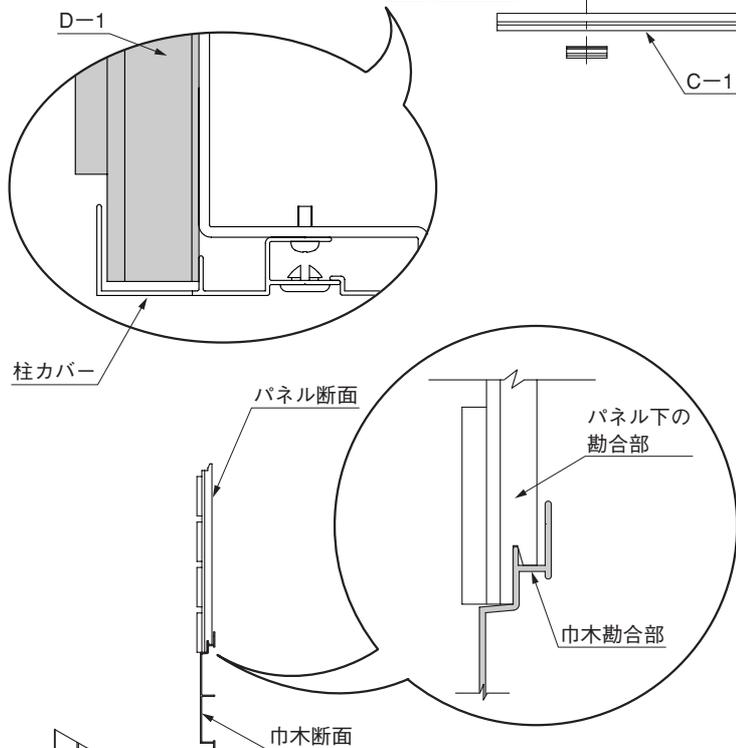
16. パネルの取付け

※パネル割付図に従い、側壁下面より1段づつパネル位置出し材で確認しながら張付けてください。

16-1 パネルの取付け ※図の側壁は左用です。



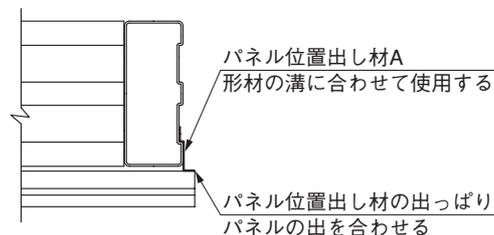
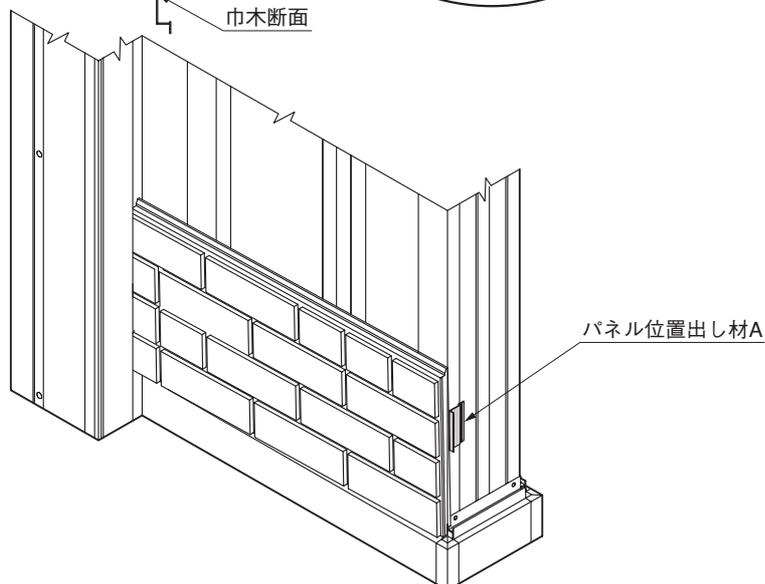
※ --- : パネル取付け金具40取付け位置



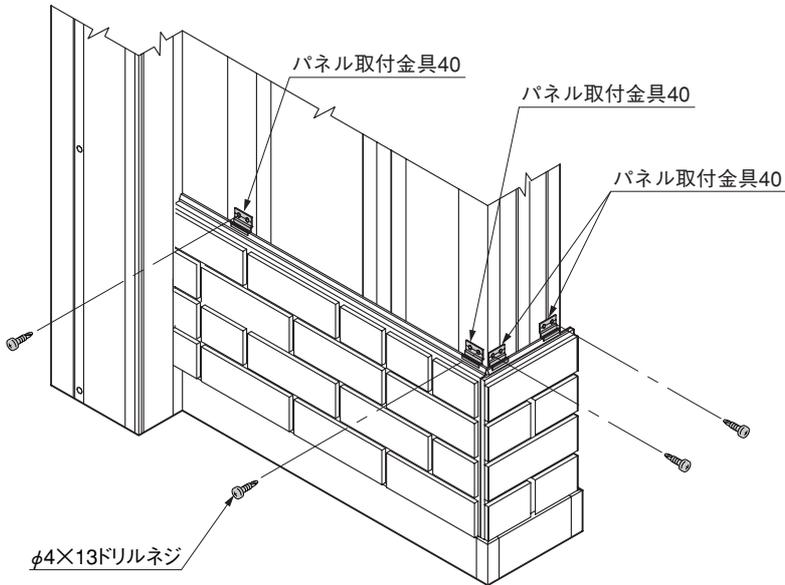
<注意>

- H23の場合は1段目にC-3、A-2、D-2、B-2を張付けてください。
- パネルD-1は、先に柱カバーに差込んでから巾木に差込んでください。

- ① 図のように、パネルの側壁レール側を上から差入れパネル下の勘合部を巾木に差込んでください。パネルの固定位置はパネル位置出し材Aを使用して確認しながら行なってください。もし、パネルに反りがあり巾木に入り難い場合は、パネルの片側のみ巾木に差込み、もう片方は巾木から浮かした状態のままパネルを押し反りを補正させながら巾木にパネル下の勘合部を差込んでください。他のパネルも同様の手順で巾木に差込んでください。



16. つづき



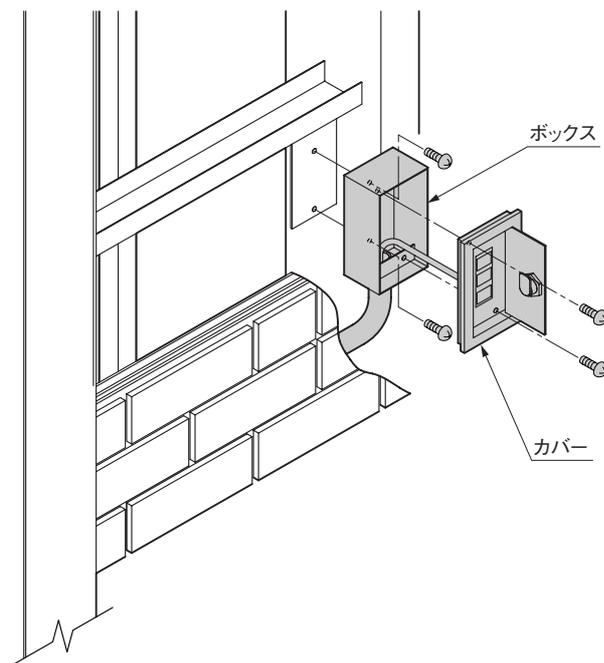
- ② 同じ段のパネルを巾木に差込んだら通りを確認の上、パネル取付金具をφ4×13ドリルネジで取付け固定してください。

<注意>

- 金具1個に付ドリルネジは1本使用してください。
- 側壁で使用する金具は、すべてパネル取付け金具40を使用してください。
(金具はA-1:3個、B-1:2個、C-1:2個、D-1:2個を使用)
- パネル勘合部で浮きがないようにパネル取付け金具の部分でたたきこんでください。

- ③ 2段目以降は、パネル下の勘合部をパネル取付け金具に差込んでください。その他、手順は1段目の巾木への差込みと同様にパネル取付け金具に差込んでください。

16-2 スイッチボックス部の取付け



- ① スイッチボックス部のパネル(C-2左)を取付ける前にスイッチボックスのふたを開けて、カバーとボックスを取りはずしてください。

<注意>

- 押しボタンスイッチの配線コード、ボックスのCD管を一度、取りはずしてください。

- ② スイッチボックス部のパネル(C-2左)を取付けてください。

<注意>

- 反対側のパネル(A-1)はスイッチボックスの取付けが終わるまで取付けしないでください。

③ パネルの取付け後、先程取りはずしたスイッチボックスを取付けてください。

<注 意>

- 押しボタンスイッチ結線図に従って結線を行なってください。

押しボタン結線図

④ スイッチボックスのカバーまわりを必ず、コーキングしてください。

17. 前面パネルへのパネルの取付け

■：パネル取付け金具40
 ■：パネル取付け金具100

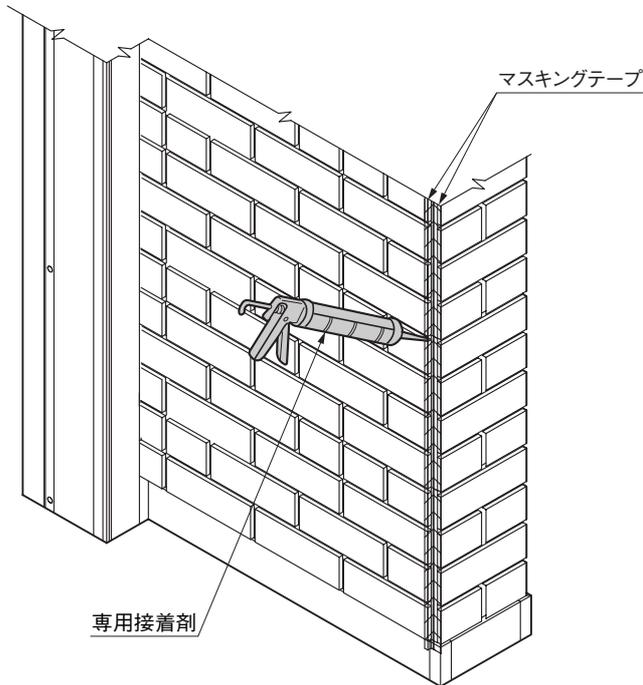
① 前面パネルにパネルを張付ける場合は、前面パネルの中心から追ってパネルを取付けてください。

② 1 段目を全て差込んで、パネル継ぎ目の間隔等の調整が終了してから、パネル取付け金具用固定ネジは本締めしてください。

<注 意>

- 調整時にパネルが動き難い場合はパネル継ぎ目にスクレーパー等を差込みこじると調節できます。
- 太線部は全てのパネル張付け後に次ページの「18.パネルの継ぎ目の補修方法」に従い、継ぎ目を補修してください。

18. パネルの継ぎ目の補修方法

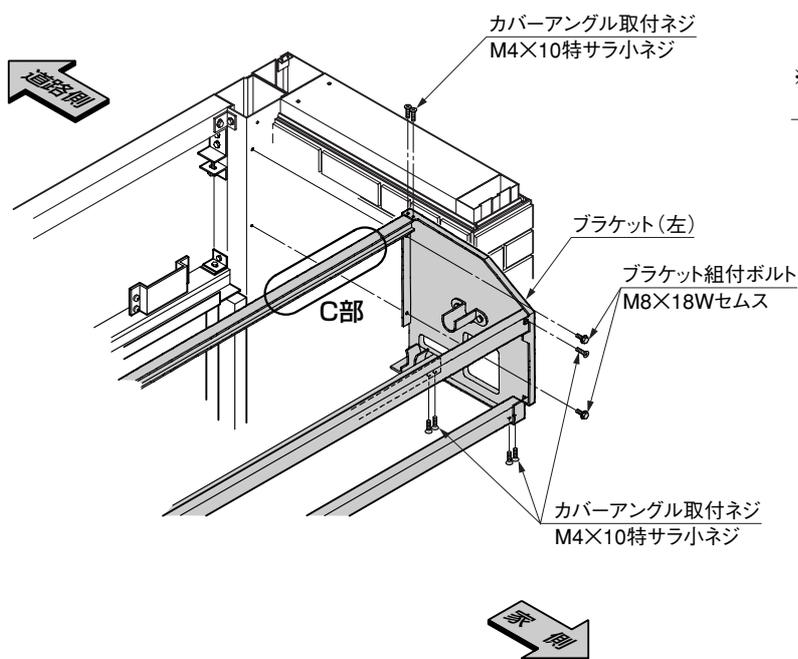


- ① パネルを全て張付けた後に前面パネル継ぎ目部およびコーナー部にTブロックラテラル専用接着剤を充てんし接着剤が硬化しない内にTブロックラテラル継ぎ目補修材(灰色)で補修してください。

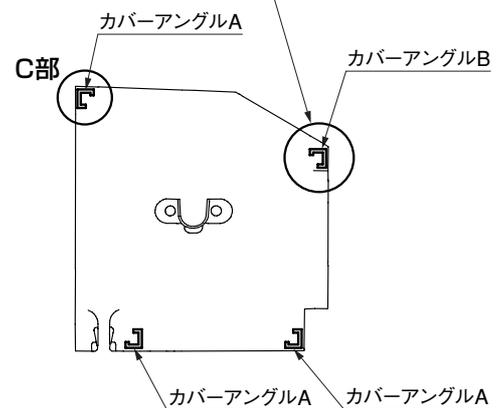
<注 意>

- 接着剤を充てんする場合は必ずマスキングしてください。
- 継ぎ目補修材(灰色)の使用方法は継ぎ目補修材の取付説明書をご覧ください。

19. ブラケット、カバーアングルA・Bの取付け



※このカバーアングルのみ
穴加工位置が異なります。

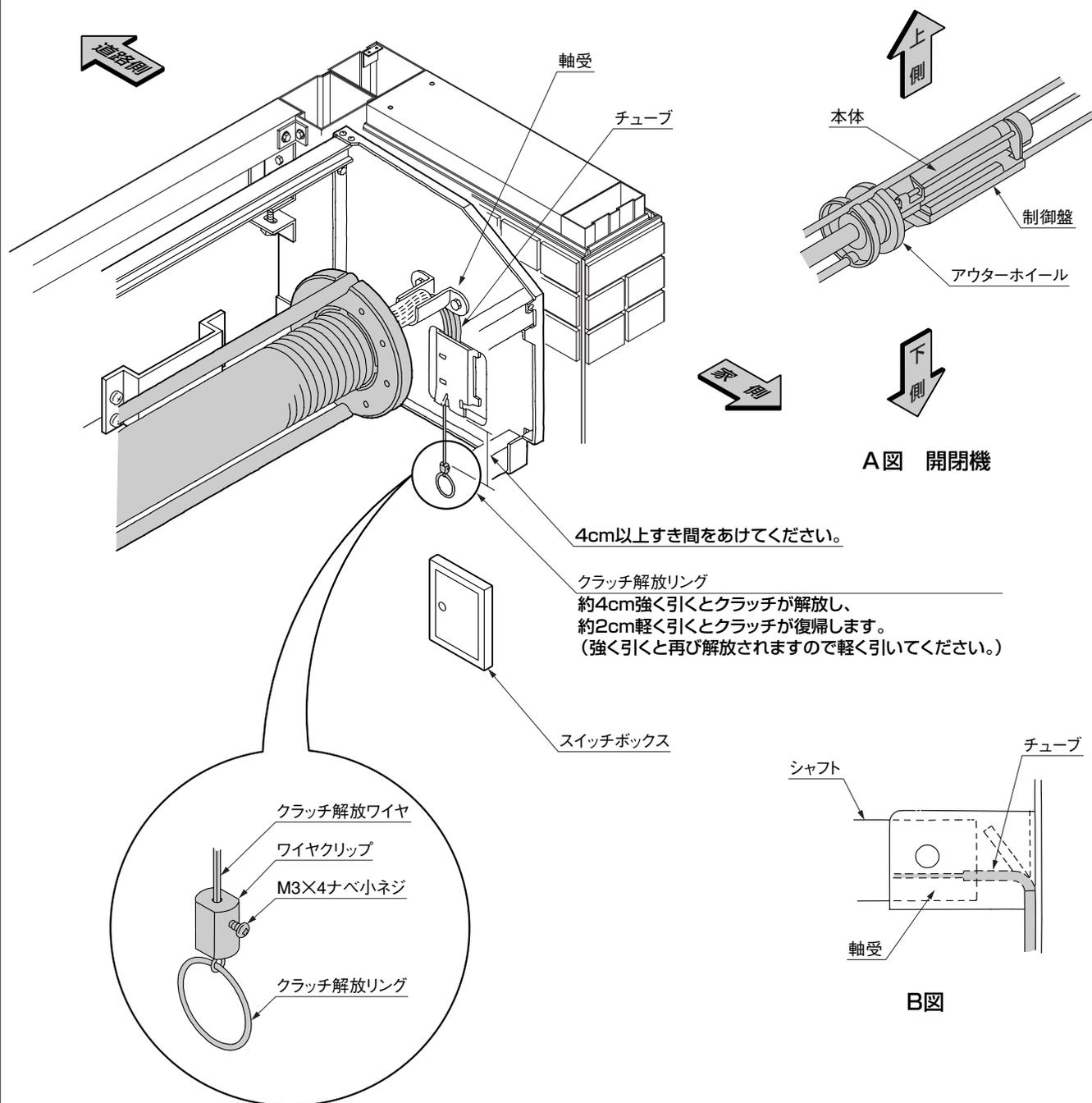


- ① ブラケットを側壁にブラケット組付ボルト(M8×18Wセムス)で固定してください。
- ② カバーアングル(A),(B)をブラケットにカバーアングル取付ネジ(M4×10特サラ小ネジ)で固定してください。

<注 意>

- C部のカバーアングルは、P 20「22.結線、ラジオ受信機の固定」の作業後に取付けてください。
- カバーアングル、A・Bの向きに注意してください。

20. 巻取シャフトの取付けおよびクラッチ解放ワイヤの処理



- 1 シャフトから出た電線を右側に、開閉機の制御盤を下側にして、巻取シャフトを軸受にのせてください。(A図参照)

<注意>

- 巻取シャフトは、コード側をスイッチボックスのある左側壁側にして取付けてください。
- 2 クラッチ解放ワイヤをチューブに通してください。クラッチ解放ワイヤを通したあとにチューブを曲げてシャフトの中に入れてください。(B図参照)
 - 3 クラッチ解放ワイヤにクラッチ解放リングを取付けて、ワイヤクリップで固定してください。

21. 電線の処理、シャフトの固定

- ① 電線を配線プレートに沿わせてください。
(たるまないように注意してください)
- ② 配線プレートの爪をマイナスドライバー等の先で押し込み、折曲げてください。
- ③ 電線をガイドのうしろに通して躯体側へ配線してください。
- ④ ガイドの上端を折曲げてください。
- ⑤ シャフトをボルト(M8×65)で軸受に固定してください。(反対側もシャフトを軸受に固定してください。)

22. 結線

- ① 各コネクタをジョイントしてください。ジョイント部はA部を除いて2ヶ所あります。
- ② A部のコネクタ(2芯)をジョイントしてください。
- ③ 電線がシャッターと接触しないように、電線を電線カバーの中に入れてください。

<注意>

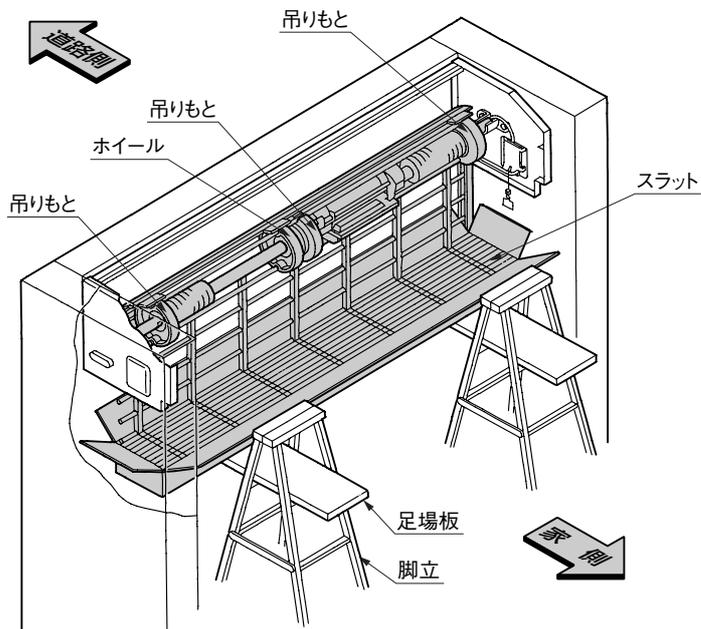
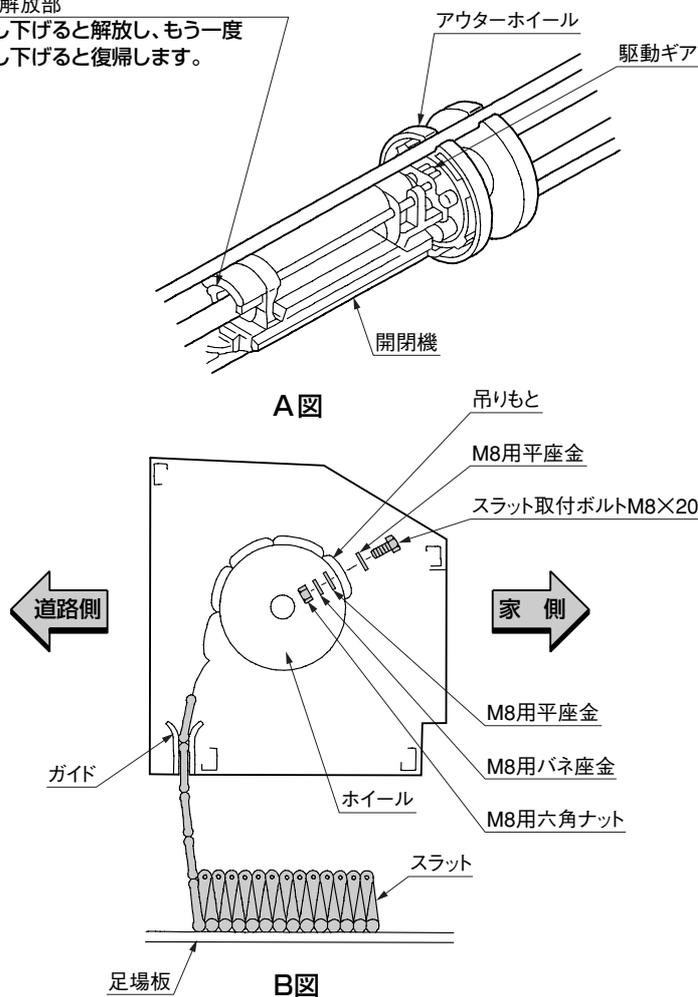
- 同じ形状のコネクタ同士を接続してください。

23. スラットの取付け

23-1 ステン・スチールの場合

クラッチ解放部

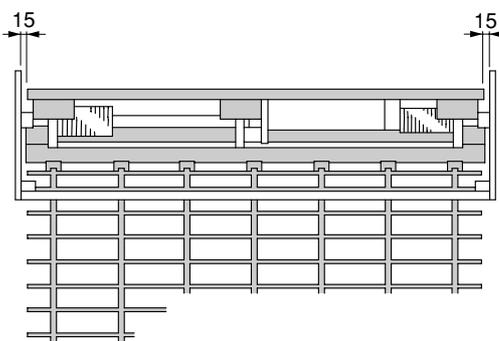
強く押し下げると解放し、もう一度軽く押し下げると復帰します。



<注意>

- スラットの取付けは駆動ギアがアウターホイールからはずれていることを確認したあと、行なってください。もしもはずれていない場合は、開閉機のクラッチ解放部を押し下げたはずしてください。(A図参照)

- ① 脚立(6尺)の上から2段目で足場を組んでください。
- ② 吊りもと用スラットを足場板の上ののせてください。吊りもとがB図の向きになるようにスラットを置いてください。
- ③ 吊りもと用スラットを少しほどいてください。
- ④ 吊りもと用スラット端部をガイドに通しながら吊りもとをホイール部まで引き上げてください。
- ⑤ 中央の吊りもとをスラット取付ボルトM8×20でホイールへ固定してください。
- ⑥ 両端の吊りもとをスラット取付ボルトM8×20でホイールへ固定してください。
- ⑦ 足場をはずして、吊りもと用スラットを静かにたらしってください。



<注意>

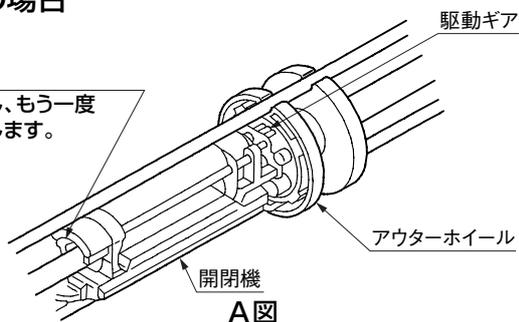
- スラット端部とブラケットのすき間が左右同じく(15mm)になるようにスラットをずらして吊りもとを固定してください。

23. つづき

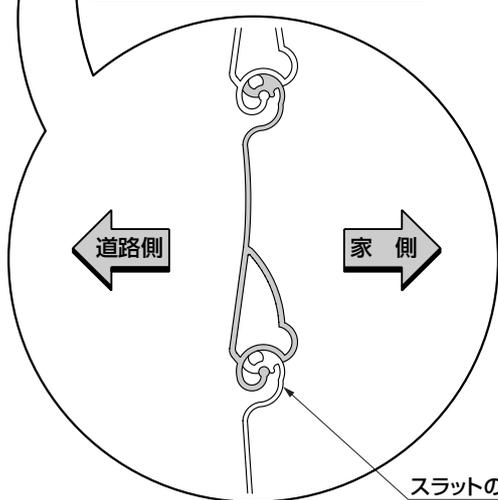
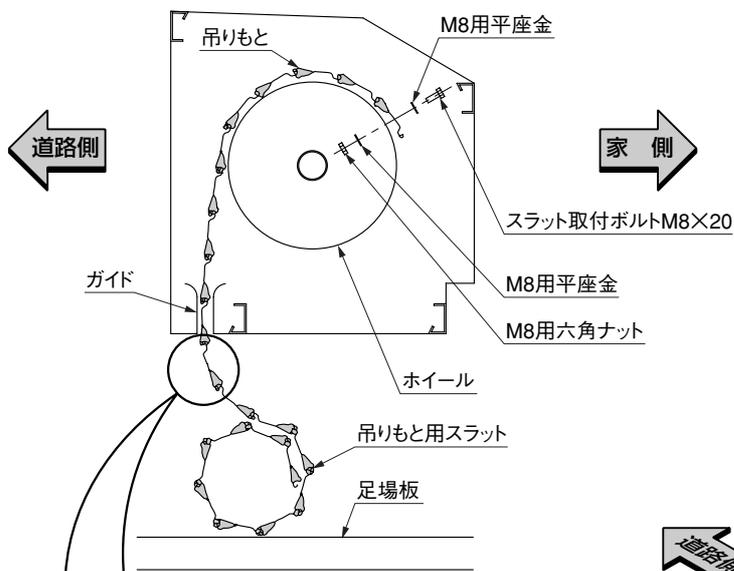
23-2 アルミの場合

クラッチ解放部

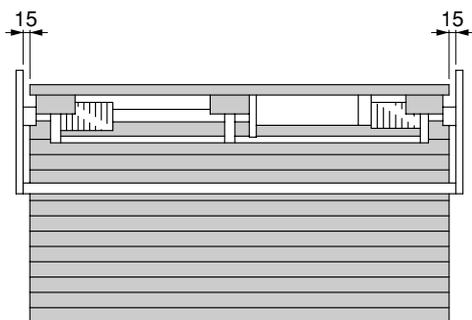
強く押し下げると解放し、もう一度軽く押し下げると復帰します。



A図



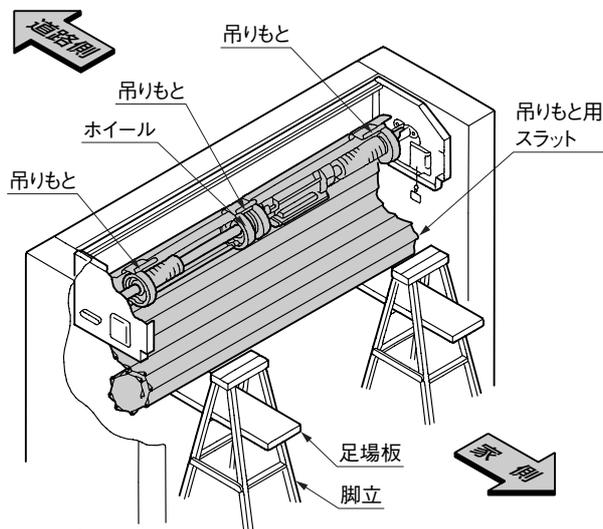
B図



<注意>

- スラットの取付けは駆動ギアがアウターホイールからはずれていることを確認したあと、行なってください。もしもはずれていない場合は、開閉機のクラッチ解放部を押し下げたはずしてください。(A図参照)

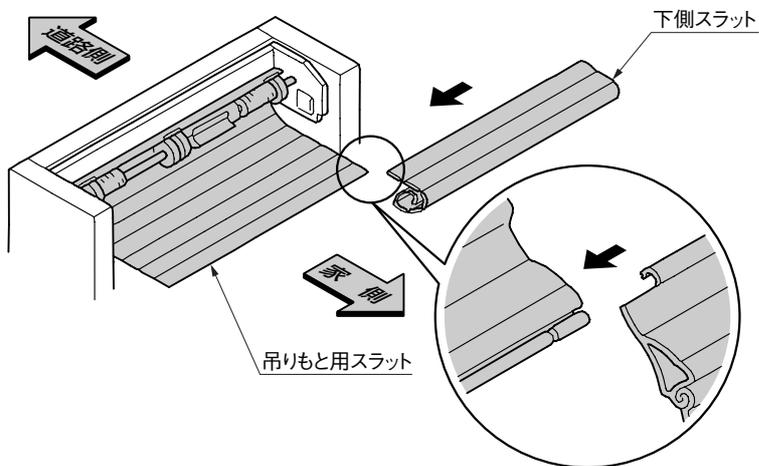
- 1 脚立(6尺)の上から2段目で足場を組んでください。
- 2 吊りもと用スラットを足場板の上ののせてください。吊りもとがB図の向きになるようにスラットを置いてください。
- 3 吊りもと用スラットを少しほどいてください。
- 4 吊りもと用スラット端部をガイドに通しながら吊りもとをホイール部まで引き上げてください。
- 5 中央の吊りもとをスラット取付ボルトM8×20でホイールへ固定してください。
- 6 両端の吊りもとをスラット取付ボルトM8×20でホイールへ固定してください。
- 7 足場をはずして、吊りもと用スラットを静かにたらしってください。



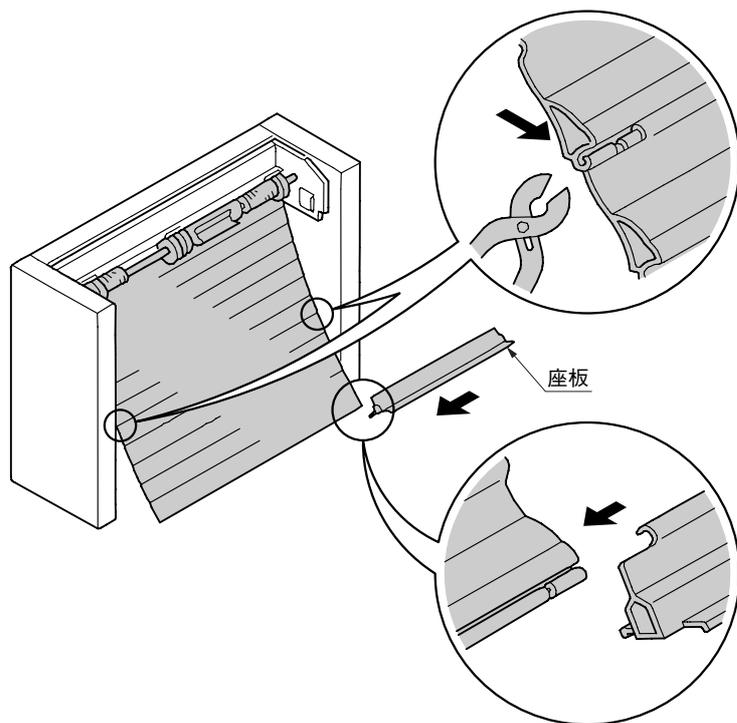
スラットの向きに注意してください。

<注意>

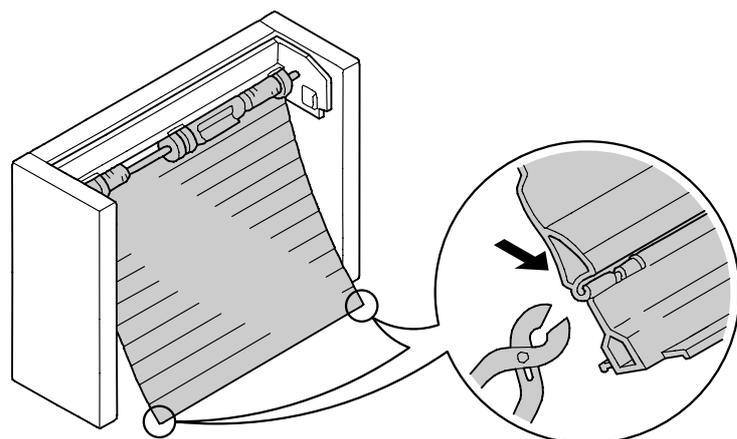
- スラット端部とブラケットのすき間が左右同じく(15mm)になるようにスラットをずらして吊りもとを固定してください。



- ⑧ 吊りもと用スラットを家側へ引き出し、下側スラットをスライドさせてください。



- ⑨ 吊りもと用スラットと下側スラットの連結部の両端をかしめてください。

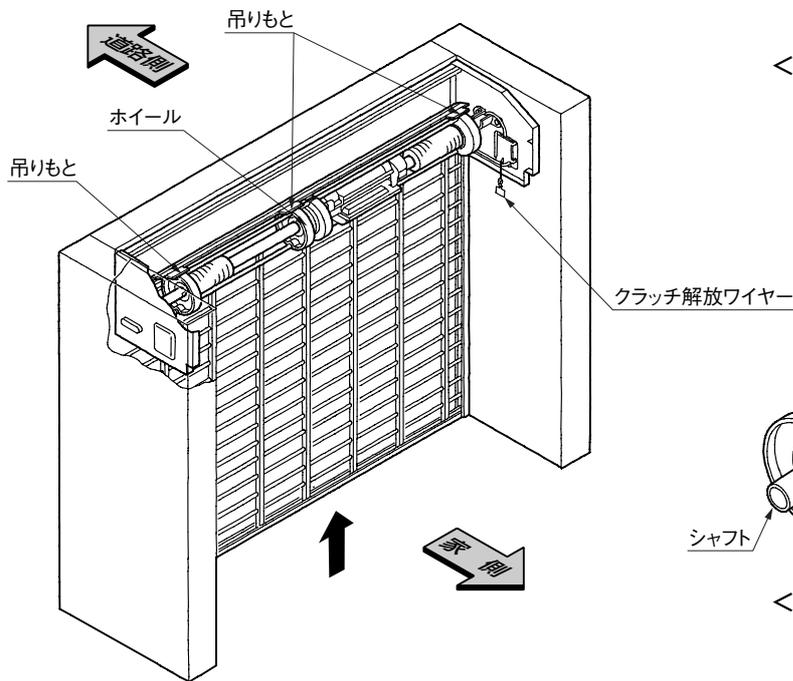


- ⑩ スラットを家側へ引き出し、座板をスライドさせてください。

- ⑪ スラットと座板の連結部の両端をかしめてください。

- ⑫ スラットと座板の養生シートをはがしてください。

24. スラットの巻取り

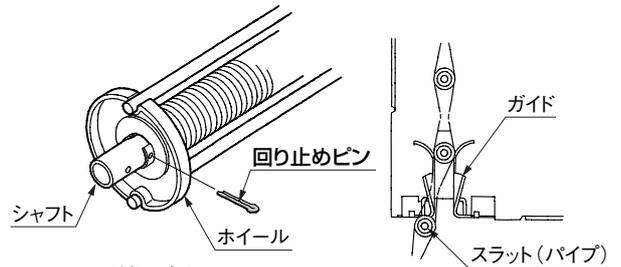


① ホイールとシャフトを固定している両端の回り止めピンを抜いてください。

<注意>

- スラットを取付けるまで、回り止めピンを絶対に抜かないでください。

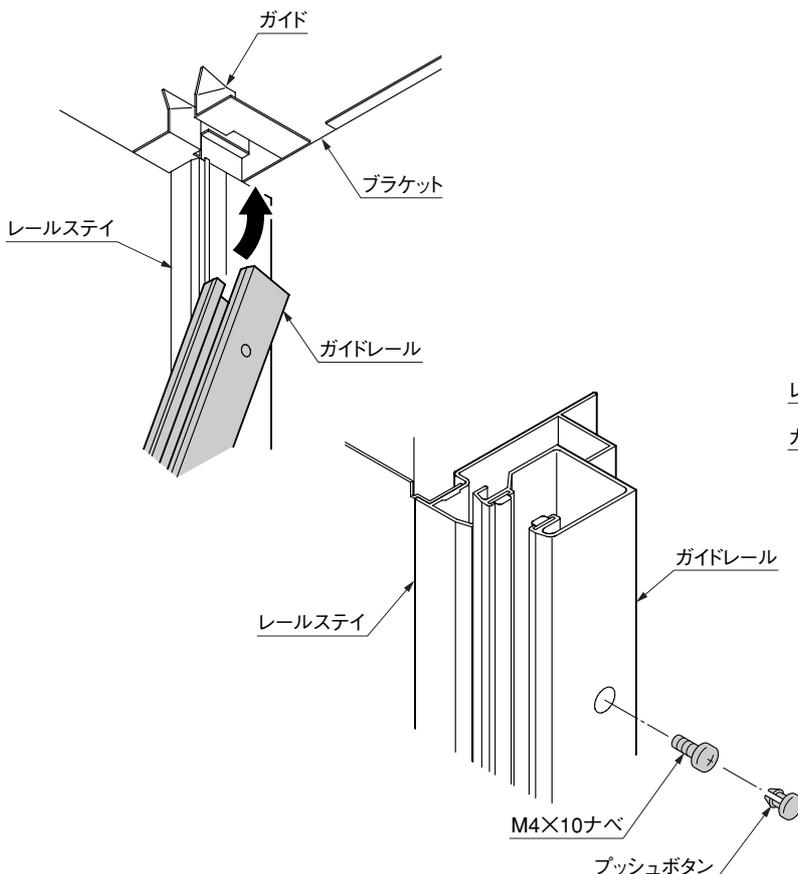
② 静かにスラットを巻上げてください。クラッチが入っているときは、クラッチ解放ワイヤーを引っ張り、クラッチを切ってください。



<注意>

- ガイドレールが無い場合、スラット(パイプ)が引っかからないように注意してください。

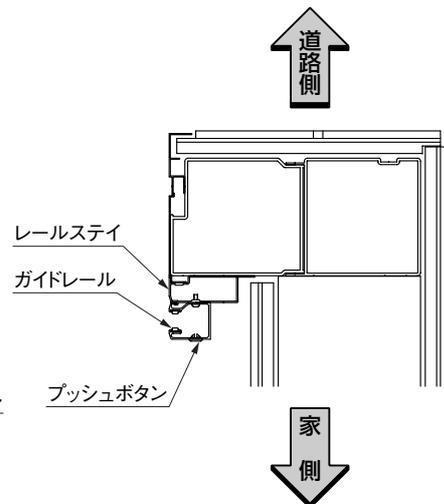
25. ガイドレールの取付け



① ガイドレールをレールステイへ引っ掛けながらガイドへ差込んでください。

<注意>

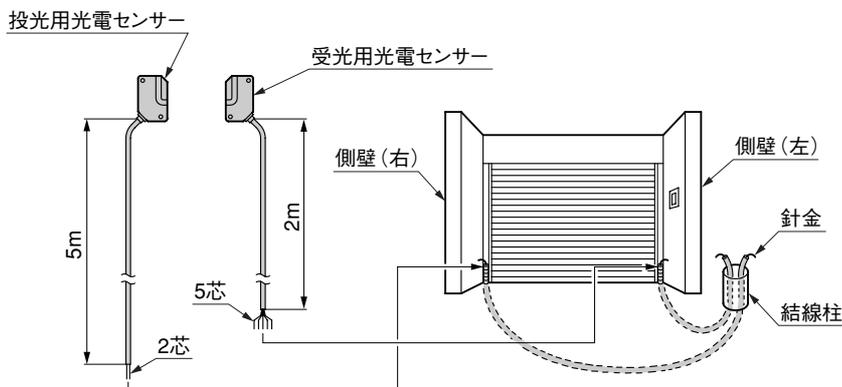
- ガイドレールの向きに注意してください。



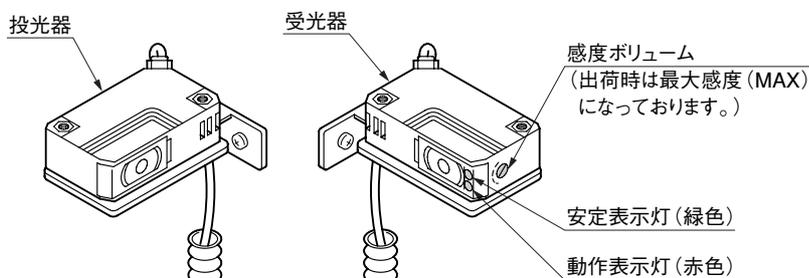
② ガイドレールをφ4×10ネジでレールステイに固定してください。

③ ガイドレールの穴をプッシュボタンで塞いでください。

26. 光電センサーの取付け



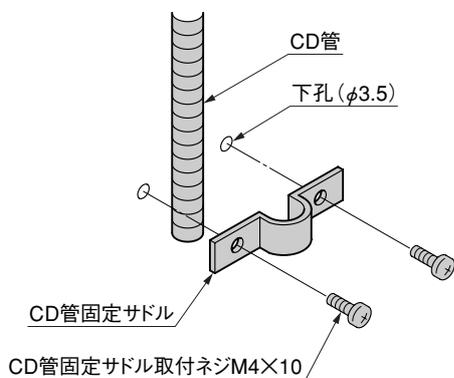
① 光電センサーケーブルを、本体レール下部側より結線柱にCD管付属の針金を利用して通してください。なお、5mケーブルの投光用光電センサーは側壁(右)から、2mケーブルの受光用光電センサーは側壁(左)から通してください。



② G.L.以下の任意の位置にCD管固定サドルの穴に合わせて、下穴(φ3.5)をドリルであけ、取付ネジ(φ4×10)でCD管を固定してください。

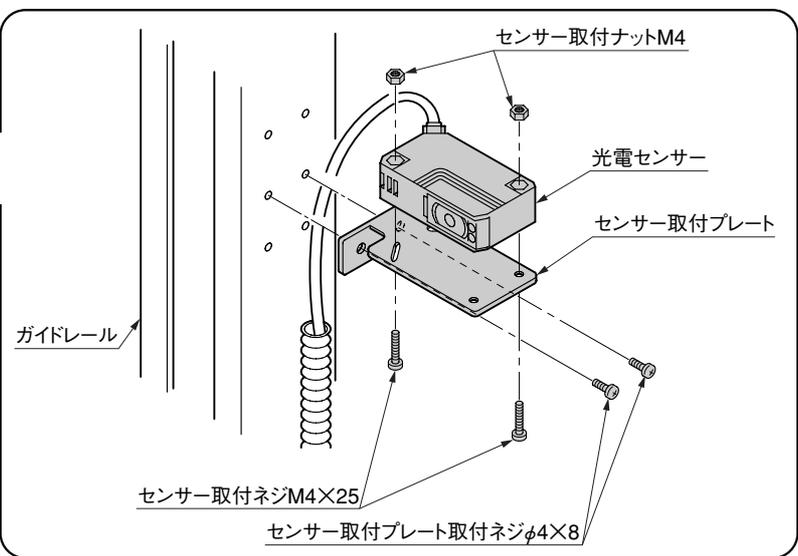
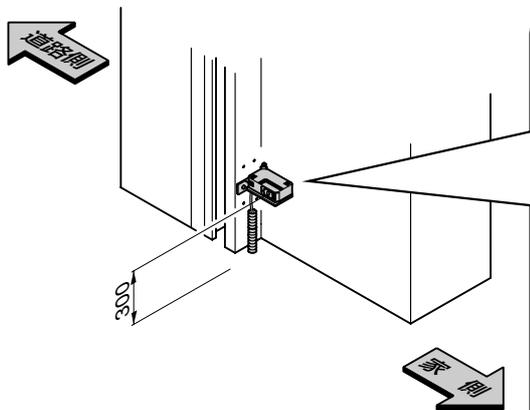
③ ガイドレールに光電センサー取付プレートをセンサー取付プレートネジφ4×8で取付けてください。

④ センサー取付プレートに光電センサーを、センサー取付ネジ(M4×25)とセンサー取付ナット(M4用)で取付けてください。



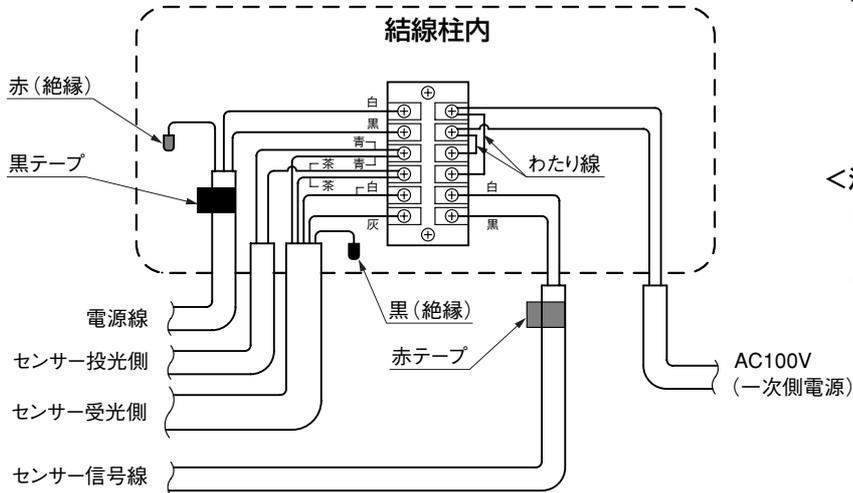
<注 意>

- 光電センサーは左右両レールにありますので両方取付けてください。



27. 結線

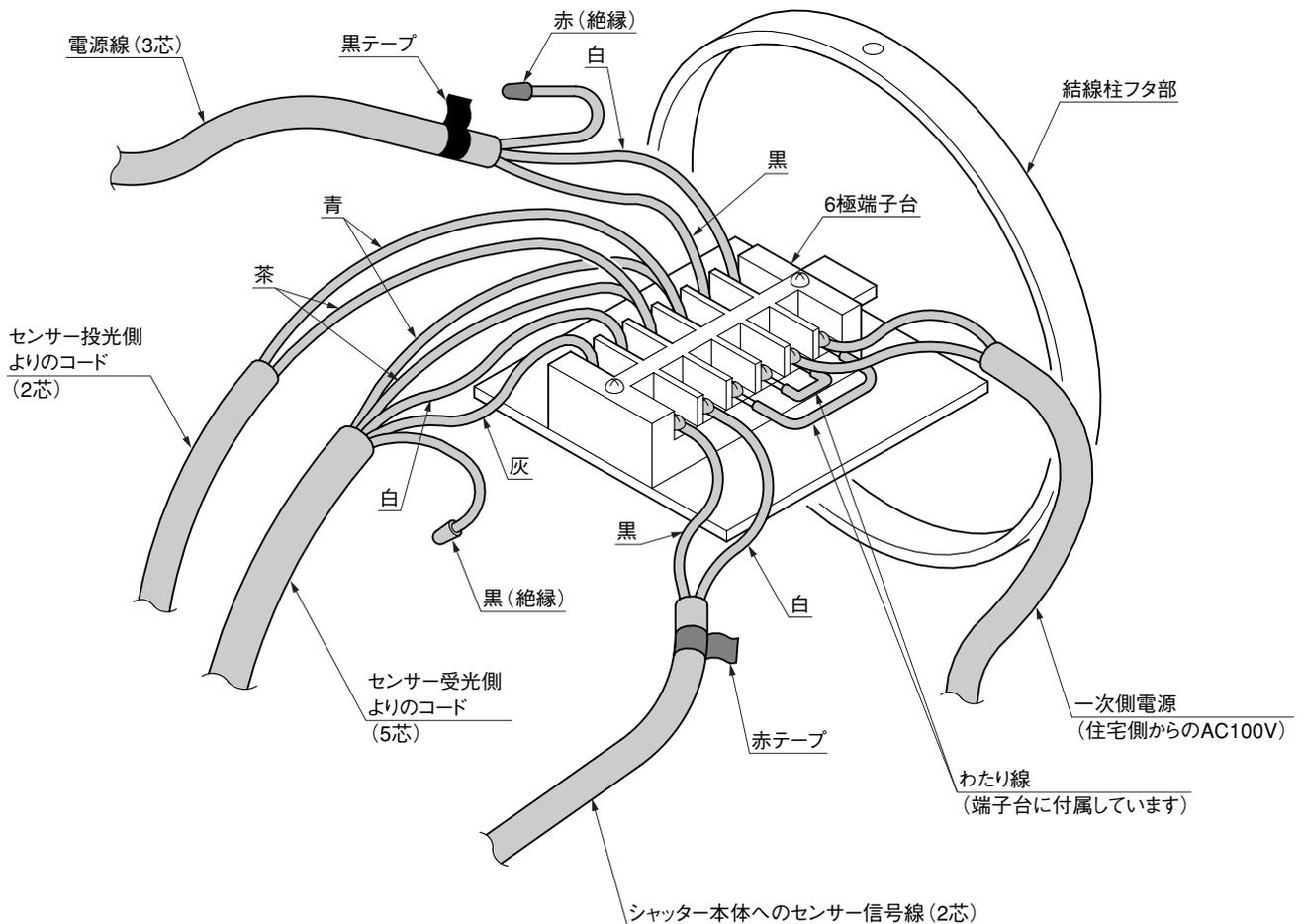
※この結線工事は、有資格の電気工事店様にご依頼ください。



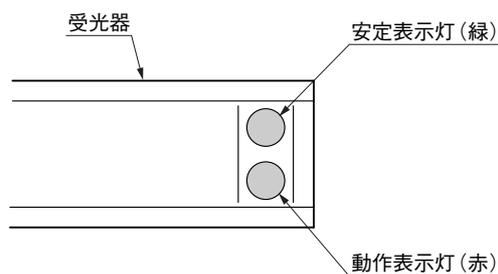
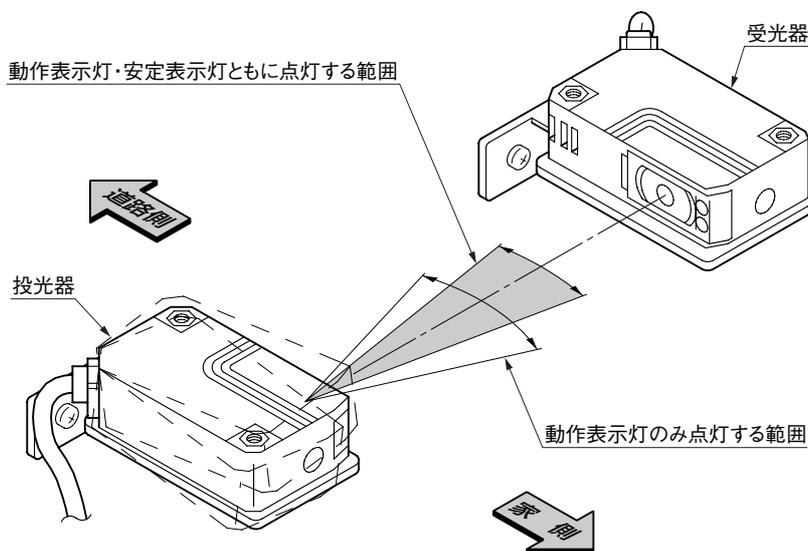
① 左図は結線柱内での電源およびセンサーの結線を示します。結線図にしたがって結線を行なってください。なお、これらの結線工事は有資格の電気工事店様へご依頼ください。

<注意>

- 家側よりのAC100V電源が切れていることを確認してください。
- 結線図とリード線の色で、結線に間違いがないことを確認してから電源を入れてください。



28. 光電センサーの調整



- ① 電源を入れてください。
- ② 投光器と受光器をほぼ一直線にして仮固定をしてください。
- ③ 投光器を左右方向に動かして、動作表示灯(赤色)が点灯している範囲のほぼ中央に設置してください。

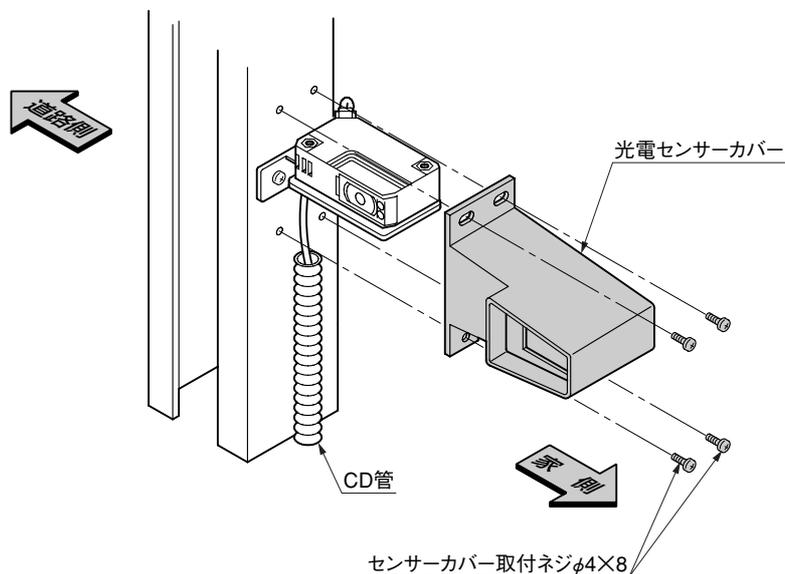
<注意>

- このときに、動作表示灯(赤色)・安定表示灯(緑色)ともに点灯している場合は、この位置でセンサーを固定してください。

- ④ 上下方向に対しても同様に上記の調整を行ってください。

- ⑤ 受光器に対しても③・④の調整を行ない、動作表示灯・安定表示灯ともに点灯している位置で固定してください。

安定表示灯	動作表示灯	調整状況
点灯	点灯	正常 待機時(安定入光)
消灯	点灯	光軸の調整が必要です。
消灯	消灯	
点灯	消灯	正常 障害物検知時(待機時にこの状態のときは、光軸調整が必要です。)



<注意>

- 感度調整など、光電センサーの詳細については光電センサー付属の説明書を参照してください。

- ⑥ 光電センサーカバーをセンサーカバー取付ネジ(φ4×8)で取付けてください。

<注意>

- 光電センサーカバーには左右があります。CD管用穴がある方が下側です。

29. 上限、下限の停止位置の設定および配線図

これからの操作は、電源(AC100V)を結線後行なってください。なお、電気工事は有資格の電気工事店様にご依頼ください。

<注 意>

- 上限、下限の停止位置を設定するまでは電動操作は絶対に行なわないでください。
- 上限、下限の停止位置の設定は押しボタンスイッチで行ないます。
- 上限、下限スイッチの設定は、電源投入後5分以内に行なってください。5分を超えた場合は、電源を入れ直してください。

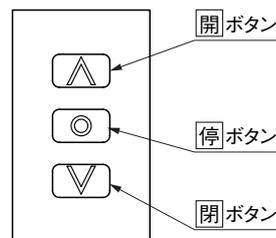
クラッチを入れて電源操作に切り替えたあと、次の操作を行なってください。

(1) 上限の設定

- 1 停 ボタンを押しながら、閉 ボタンを3回押してください。
- 2 停 ボタンを離してください。
- 3 ブザーが鳴り、押しボタンを押したときだけ動作する押し切りとなります。
- 4 上限ボタンの設定位置まで動かしてください。
- 5 停 ボタンを押しながら、開 ボタンを3回押してください。
- 6 停 ボタンを離してください。
(ブザーが鳴り止め、上限の設定完了)

(2) 下限の設定

- 1 停 ボタンを押しながら、閉 ボタンを3回押してください。
- 2 停 ボタンを離してください。

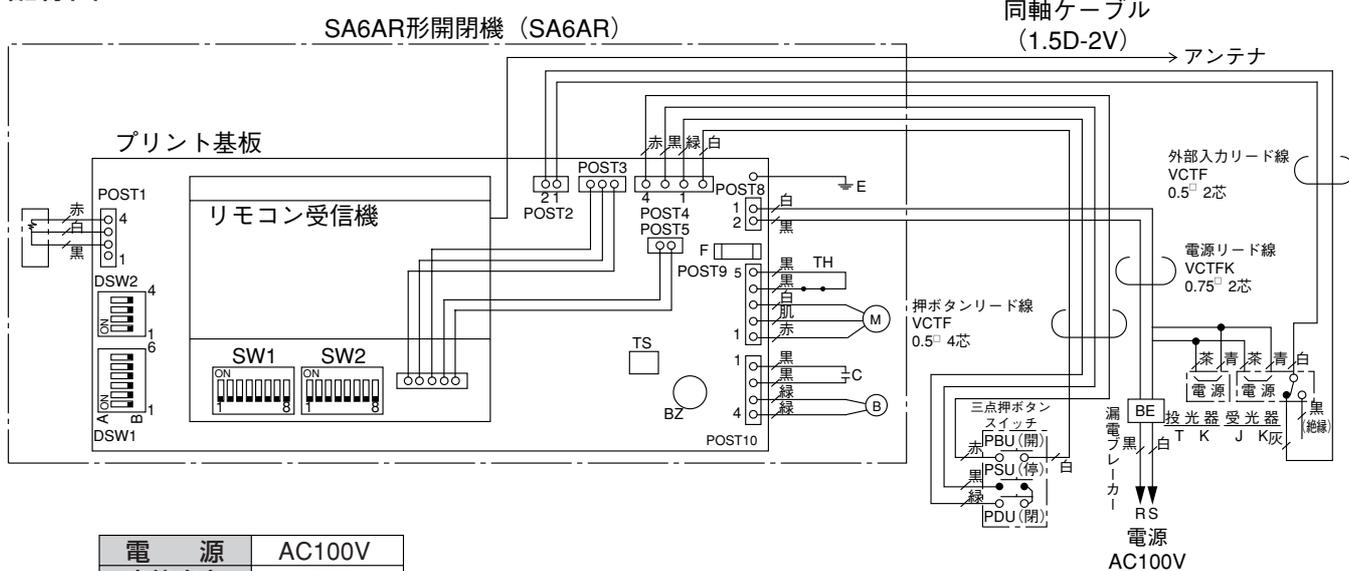


- 3 ブザーが鳴り、押しボタンを押したときだけ動作する押し切りとなります。
- 4 下限ボタンの設定位置まで動かしてください。
- 5 停 ボタンを押しながら、閉 ボタンを3回押してください。
- 6 停 ボタンを離してください。
(ブザーが鳴り止め、下限の設定完了)

<注 意>

- 下限の設定時にブザーが鳴り止まない場合は、3の状態状態でシャッターを下限からさらに1秒間位下げ、下限の位置へ戻してください。その後、5,6を繰り返し、次にもう一度、上限を設定し直してください。
- 設定後の1回だけは停止位置がわずかにずれますが、2回目以降は設定位置で停止します。

配線図



電 源		AC100V
定格出力		40W
定格電流	50Hz	1.7A
起動電流	60Hz	1.7A
起動電流	50Hz	2.0A
起動電流	60Hz	2.0A

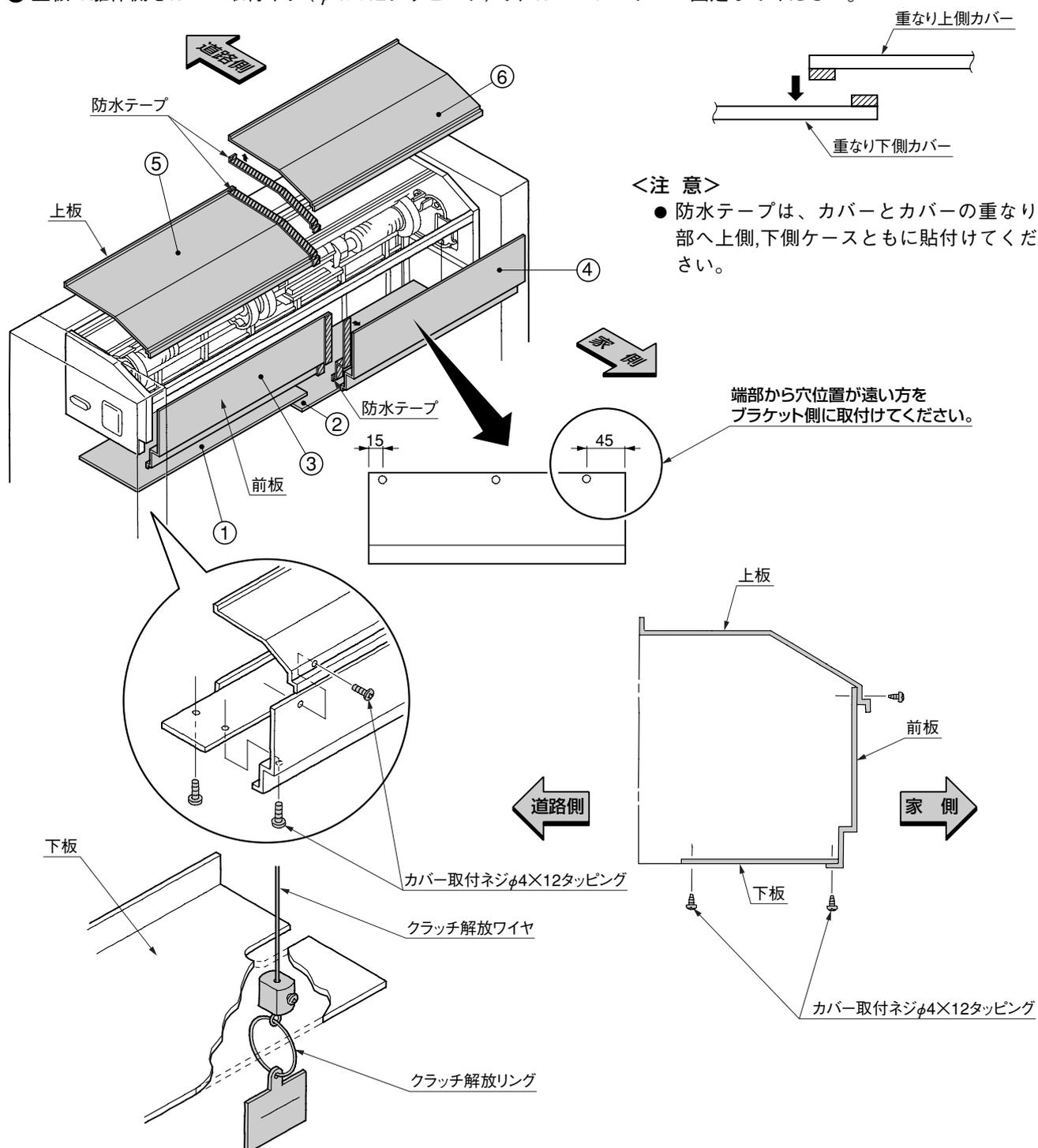
30. カバーの取付け

カバーに表示されている数字 (①~⑥) にしたがって、取付けを行なってください。

<注 意>

● 全てのカバーを取付けるまではネジは仮止めとしてください。

- ① ③~④の4枚のカバーに防水テープを貼付けてください。
- ② 下板の内まぐさ側(奥側)を、カバー取付ネジ(φ4×12タッピング)で固定してください。
- ③ 前板の下側と下板の手前側を重ねて、カバー取付ネジ(φ4×12タッピング)でカバーアングルに固定してください。
- ④ 上板の手前と前板の上側を重ねて、カバー取付ネジ(φ4×12タッピング)でカバーアングルに固定してください。
- ⑤ 上板の躯体側をカバー取付ネジ(φ4×12タッピング)で、カバーアングルへ固定してください。

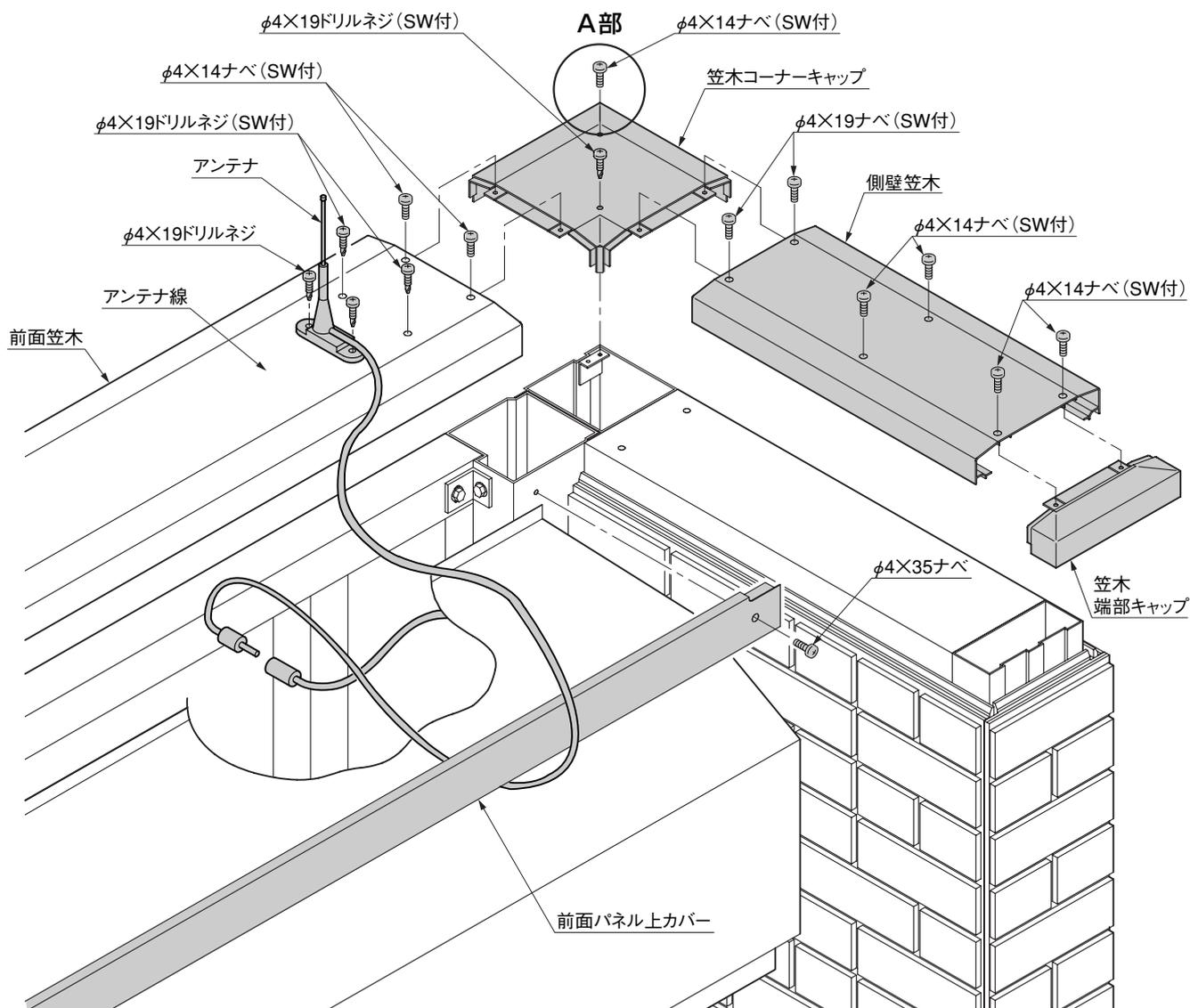


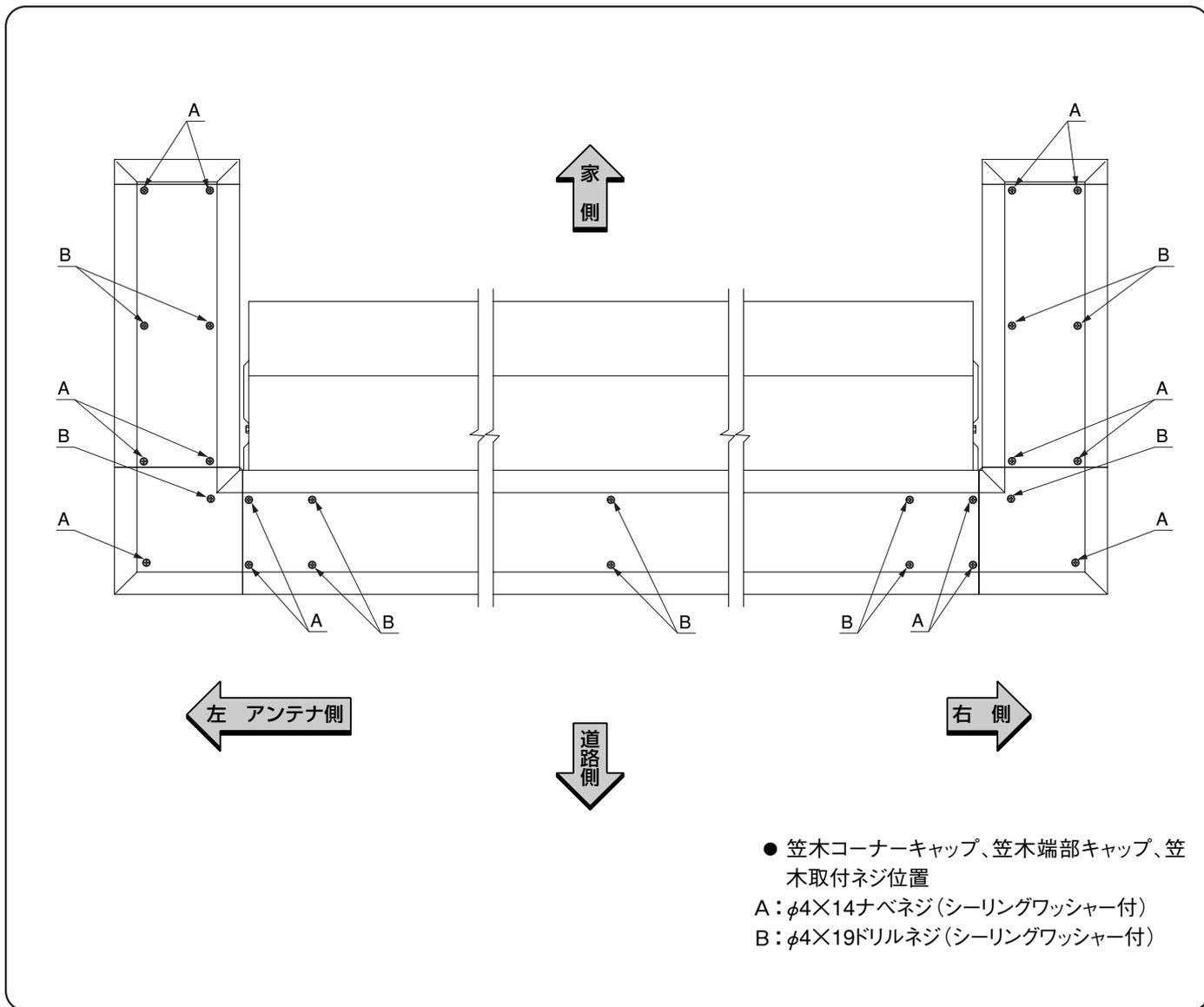
31. 笠木、笠木コーナーキャップ、端部キャップの取付け

- ❶ シャッターBOXカバーを外はずして、アンテナ線をシャフト側のアンテナ線と接続してください。
- ❷ 前面パネル上カバーの両端をφ4×35ナベで側壁に取付けてください。
- ❸ 前面笠木に笠木コーナーキャップを差込み、笠木コーナーキャップのA部をφ4×14ナベ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。
- ❹ 前面・側壁笠木と笠木端部・コーナーキャップをφ4×14ナベ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。
- ❺ 笠木コーナーキャップと前面・側壁笠木をφ4×19ドリルネジ(シーリングワッシャー付)で取付けてください。

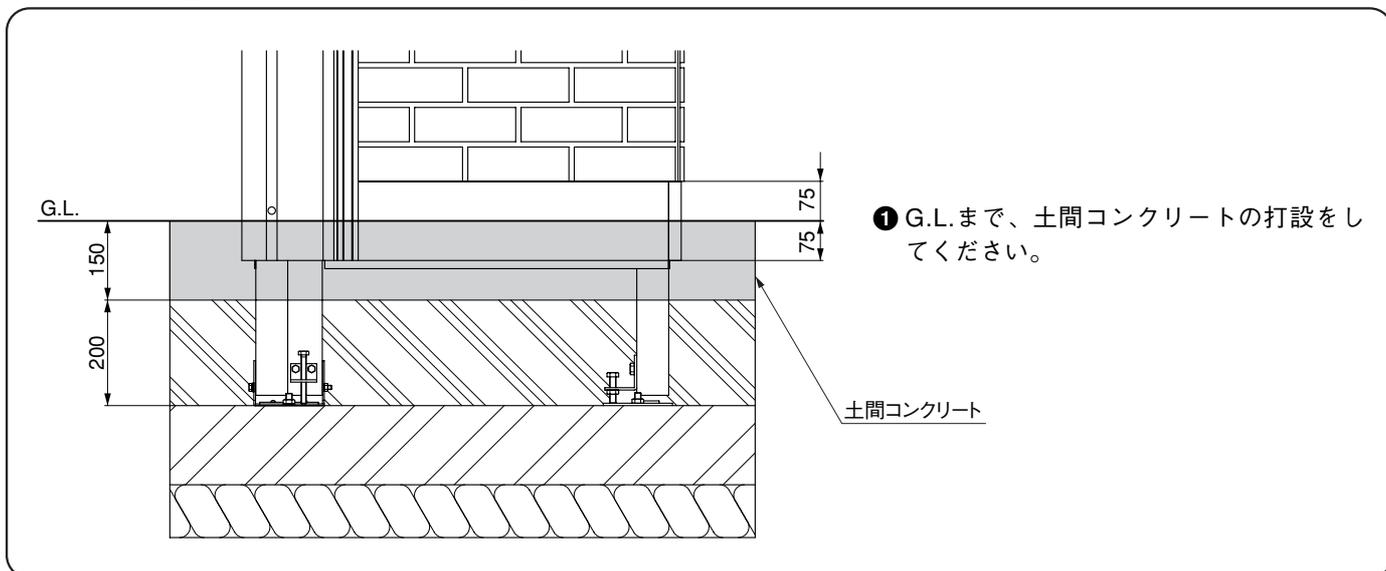
<注 意>

- 笠木コーナーキャップの取付けには、φ4×14ナベとφ4×19ドリルネジを使用しますので、取付位置をご確認ください。また、φ4×19ドリルネジを使用して組付ける部品の下孔はありません。
- ❻ アンテナをφ4×19ドリルネジで前面笠木へ取付けてください。(位置は任意です。)
 - ❼ 笠木と笠木端部・コーナーキャップの合わせ目をシール剤で処理してください。





32. 土間コンクリート打ち





工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

D299

200009A
200103B